東京農業大学
「食と農」の博物館

年報

令和5年・令和6年・令和7年



東京農業大学
「食と農」の博物館
TOKYO UNIVERSITY OF AGRICULTURE
FOOD AND AGRICULTURE MUSEUM

年報の発刊にあたって

東京農業大学「食と農」の博物館
館長　前橋健二

令和 8 年の春、東京農業大学「食と農」の博物館は設立から 22 年が経過しました。平成 16 年の開館以来、「食と農」の博物館は農大の教育・研究業績を外部に広める情報発信基地として、近隣地域に愛されるコミュニティセンターとして歩みを続けております。

令和 5 年、博物館法の大きな改正が施行されました。改正前は、博物館は法で定めるところの登録博物館のほか、博物館相当施設、博物館類似施設があり、博物館登録は限定されていましたが、新博物館法では学校法人を含めて広く法人が登録可能になりました。改正された登録審査基準では、これまで外形的な要件のみであったのとは異なり、活動の実質的な要素も重要視されるようになり、登録博物館となることで博物館法上の「社会教育のための機関」「文化芸術発展のための機関」という位置づけが認められたことになります。

現在の「食と農」の博物館は指定施設ですが、経過措置期間を過ぎると「見なし指定施設」となってしまいます。そこで「食と農」の博物館は、令和 5 年度より 5 か年計画で博物館登録を目指しています。令和 5 年には運用体制の確認を行い、令和 6 年度には博物館資料のデジタルアーカイブ化を進めました。令和 7 年度に「食と農」の博物館研究紀要の創刊、収蔵庫の設置および収蔵庫の整理を行い、博物館登録申請へと大きく前進しました。また令和 7 年度には文化庁の食文化ミュージアムに認定され、「食と農」の博物館が食文化への学びや体験の提供に取り組む施設であることがアピールできたことと思います。令和 9 年度からの登録博物館としての運用を目標に準備を進めております。

この年報の対象とする令和 5 年度からの 3 年間は、博物館登録 5 カ年計画のうちの 3 年ということで、「食と農」の博物館が新博物館法下の登録博物館として再出発するまでの過渡期の一部と言えます。デジタルアーカイブ・データベース化、収蔵庫増設・整理、紀要発行など数々のハードルをクリアしてきました。そして、令和 5 年春から「五感で学ぶ！ちいきのひみつ」（地域創成科学科企画）、同秋から「JOZOO－醸造と発酵のせかい―」（醸造科学科企画）、令和 6 年春から「美しき土壌の世界」（農芸化学科加藤拓教授企画）、同秋から「南極飯！」（学術情報課程田留健介准教授企画）、令和 7 年春から通年で「いきもの研究所の舞台裏」（（一財）進化生物学研究所企画）と、皆様の多大なご協力をお借りして企画展示を充実させることができました。

これからも、「食と農」の博物館は、大学の知の情報発信基地としての役割、また地域社会には「食と農」の分野における実践的社会教育の場を提供する役割を果たしていく所存です。皆様にはより一層のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

目　次

「年報」の発行にあたって　館長挨拶 …… 1

Ⅰ　東京農業大学「食と農」の博物館について

1. 施設の概要 …… 3
   (1) 沿革
   (2) 建物
2. 歴代館長 …… 3

Ⅱ　令和5年度・令和6年度・令和7年度の活動

1. 常設展示 …… 4
   (1) 法人と大学のコーナー及び（一財）進化生物学研究所コレクション
   (2) 鶏の学術標本コレクション／2 階展示室
   (3) 多種多様な酒器のコレクション／2 階展示室
   (4) 東京農業大学卒業生の蔵元「銘酒紹介コーナー」(69 蔵 280 本の酒瓶)／2 階展示室
   (5) 農大「村の古民家」(日本の古民家再現ジオラマ展示)／2 階展示室
   (6) ビール缶・古農具・標本・化石の常設展示・紹介／サイエンスポート 1 階
2. 特別展示・企画展示・小企画（短期）展示 …… 17
   (1) 特別展示・企画展示
   (2) 小企画（短期）展示・講演・講座
3. CMBOX 及び蔵元紹介コーナー会員によるイベント／施設貸出等 …… 28
4. 刊行物一覧 …… 28
5. 教育普及活動 …… 29
   (1) 学芸員実習生の受入れ
   (2) 職場体験学習の受入れ
   (3) 修学旅行・課外授業（中学生・高校生）等団体見学受入れ
6. 所蔵資料及び所蔵データ等の貸出及びレファレンスサービス一覧 …… 36
7. 施設の貸出 …… 37
8. その他 …… 40

Ⅲ　各種データ

1. 月別の開館日数と入館者数 …… 41
2. コマーシャルボックス利用状況 …… 41
   (1)コマーシャルボックス
   (2)東京農業大学卒業生の蔵元「銘酒紹介コーナー」
3. メディア／取材申し込み・掲載誌 …… 43
4. 規程・細則等 …… 48
   (1)東京農業大学「食と農」の博物館規程
   (2)東京農業大学「食と農」の博物館管理運営細則
   (3)東京農業大学「食と農」の博物館コマーシャルボックス管理運営要項
   (4)東京農業大学「食と農」の博物館施設貸出要項
   (5)東京農業大学「食と農」の博物館実行委員会細則

Ⅰ　東京農業大学「食と農」の博物館について

1.施設の概要

(1) 沿革

東京農業大学「食と農」の博物館は、東京農業大学が（一財）進化生物学研究所の支援のもと平成 16 年 4 月 6 日に開館した。その源流は、今から約 100 年前、大日本農会付属私立東京高等農学校時代の明治 27 年に開設された「標本室」に遡る。当時の校長であり、日本の「博物館の父」ともいわれる田中芳男によって開設された。残念なことに当時の実物資料は戦火で焼失したが、本学と（一財）進化生物学研究所コレクションとして引き継がれ現在に至る。

(2) 建物

【構造】　RC(鉄筋コンクリート)造、一部 S(鉄骨)造　地上 4 階

【面積】　3482.49 ㎡（延べ面積）

【構成】　1 階　東京農業大学「食と農」の博物館

企画展示室 A、企画展示室 B、映像コーナー、事務室、荷捌室、ポンプ室、他

博物館の南側に（一財)進化生物学研究所運営のバイオリウムを併設

2 階　東京農業大学「食と農」の博物館

常設展示室、セミナー室、セミナー室横展示準備室、工作室、収蔵庫、応接室　他

3 階　(一財)進化生物学研究所

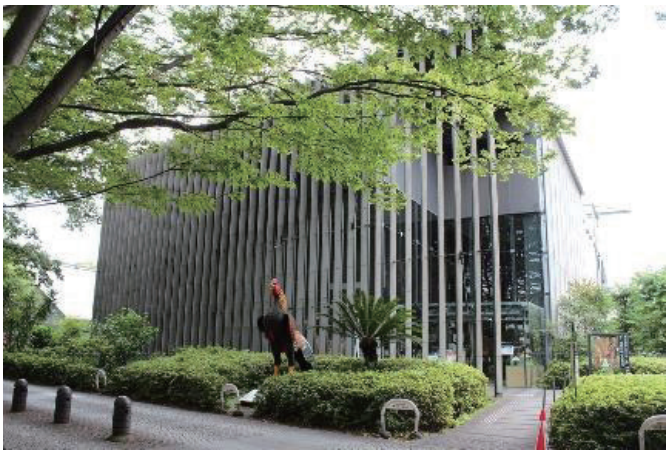
4 階　(一財)進化生物学研究所

【設計】　隈研吾建築都市設計事務所

【施工】　戸田建設

2.歴代館長

【初代館長】	宮 林 茂 幸	地域環境科学部 森林総合科学科 教授	平成 16 年 4 月～平成 18 年 3 月
【二代館長】	夏 秋 啓 子	国際食料情報学部 国際農業開発学科 教授	平成 18 年 4 月～平成 22 年 3 月
【三代館長】	小 泉 幸 道	応用生物科学部 醸造科学科 教授	平成 22 年 4 月～平成 26 年 3 月
【四代館長】	上原 万里子	応用生物科学部 食品安全健康学科 教授	平成 26 年 4 月～平成 28 年 3 月
【五代館長】	江 口 文 陽	地域環境科学部 森林総合科学科 教授	平成 28 年 4 月～令和 3 年 3 月
【六代館長】	上 岡 美 保	国際食料情報学部 国際食農科学科 教授	令和 3 年 4 月～令和 5 年 3 月
【七代館長】	木村 李花子	学術情報課程 教授	令和 5 年 4 月～令和 7 年 3 月
【八代館長】	前 橋 健 二	応用生物科学部 醸造科学科 教授	令和 7 年 4 月～



東京農業大学「食と農」の博物館 外観 正面

Ⅱ　令和 5 年度・令和 6 年度・令和 7 年度の活動

1.常設展示

(1)法人と大学のコーナー及び（一財）進化生物学研究所コレクション

※以下、常設展示リストのうち、展示開始日が明記されていない資料については、平成 25 年度またはそれ以前から引き続き展示しているもの。

①材鑑標本の展示／1 階展示室　－平成 16 年 4 月から展示開始－

樹木の幹と一定のサイズに切り揃えた木材の標本を林鑑標本といい、木材組織や材面の特徴などが分かる。樹木の伐採が必要となるため、貴重な資料である。

a）屋久スギ Cryptomeria japonica
【樹齢】約 1,400 年【最大径】約 240 cm
【採集地】鹿児島県熊毛郡屋久町字ハサ岳国有林 68 林班
【採集年月日】昭和 55 年 3 月 10 日(伐倒は約 300 年前と推定)
【採取した樹高】地上より約 200 cm

b）木曽ヒノキ Chamaecyparis obtusa
【樹齢】約 330 年【最大径】約 100 cm
【採集地】長野県木曽郡南木曽町読書柿其国有林 49 林班
【採集年月日】昭和 55 年 6 月 7 日
【採取した樹高】斜面下部地上より約 160 cm、斜面上部地上より約 7 cm

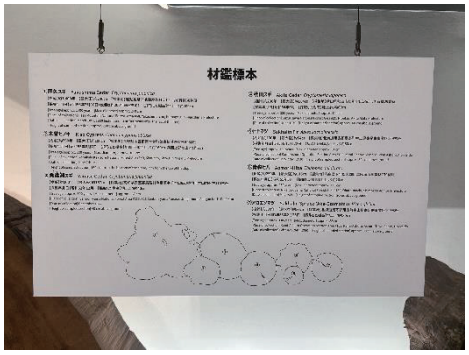
c）魚柳瀬杉 Cryptomeria japonica
【樹齢】約 300 年【最大径】約 167 cm
【採集地】高知県安芸郡馬路村魚梁瀬字千本山 823 番地千本山国有林 115 林班
【採集年月日】昭和 52 年 12 月
【採取した樹高】地上より約 40 cm

d）秋田スギ Cryptomeria japonica
【樹齢】約 230 年【最大径】約 104 cm
【採集地】秋田県秋田市仁別字砥沢砥沢国有林 29 林班
【採集年月日】昭和 54 年 6 月
【採取した樹高】地上より約 60 cm

e）トドマツ Abies sachalinensis
【樹齢】約 130 年【最大径】約 54 cm
【採集地】北海道足寄郡足寄町字上足寄足寄事業区 109 林班
【採集年月日】昭和 55 年 5 月 22 日
【採取した樹高】地上より約 50 cm

f）青森ヒバ Thujopsis dolabrata Sieb. et Zucc.var hondae Makino
【樹齢】約 250 年【最大径】約 115 cm
【採集地】青森県下北郡大畑町二階滝山国有林 139 林班
【採集年月日】昭和 55 年 5 月
【採取した樹高】地上より約 20 cm

g）アカエゾマツ Picea glehnii (Fr. Schm.) Masters
【樹齢】約 330 年【最大径】約 83 cm
【採集地】北海道足寄郡足寄町字上足寄足寄事業区 109 林班
【採集年月日】昭和 55 年 2 月 26 日【採取した樹高】地上より約 80 cm





②トラクター3 台／1 階展示室　－平成 27 年 6 月から展示開始－

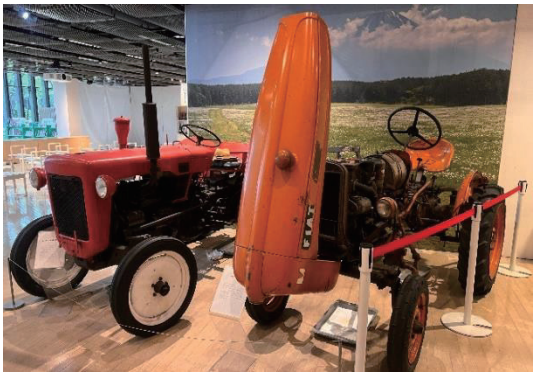
本学農場で使用していたトラクターは、貴重な資料として展示している。

a)FORD601WORKMASTER／アメリカのフォード社製。昭和 32 年から昭和 37 年にかけて生産されたトラクター。この 601 ワークマスターの前輪は本来 5.50－16(タイヤ断面幅－リム径、単位はインチ)のタイヤが使用されているが、ここに展示のトラクターは 6.00－16 が装着されている。(写真左)

b)コマツ WD30／いすゞDL200 型ディーゼルエンジンを搭載した国産トラクター最初期のモデル。(株)小松製作所が昭和 36 年より生産を初めたもので、当博物館に展示のトラクターはシリアルナンバーNo.0009。（写真右　左側）

c）FIAT221R／2 気筒ディーゼルエンジンを搭載したイタリアのフィアット社製。小回りの利くトラクターでイタリアでは通称“La Piccola（ラ・ピッコラ)”と呼ばれて親しまれた。(写真右　右側）





③鈴木梅太郎のオリザニン／1 階展示室

世界最初のチアミン（ビタミン B1）発見 －平成 24 年 4 月から展示開始－



鈴木梅太郎は明治 29 年に帝国大学農科大学農芸化学科(帝国大学は、明治 30 年に京都帝国大学の創設に伴い,東京帝国大学と改称)を主席で卒業、大学院に進学。明治 33 年、農科大学助教授に就任、ドイツ留学を経て、明治 39 年に東京帝国大学助教授、明治 40 年に同大学の教授となった。

明治 42 年には東京肥料分析講習所所長を兼務。大正 2 年に東京肥料分析講習所が改組され、東京農業大学肥料分析講習部となり同部長を兼務。これが鈴木と東京農業大学との関係の始まりである。この関係は大正 12 年に東京農業大学農芸化学講習部(前肥料分析講習部)が農芸化学部と改称し、2 年制となる頃まで続いた。その後、鈴木梅太郎の高弟である佐橋佳一が東京農業大学に招かれたとき、東京大学の鈴木研究室にあったオリザニンや数々のビタミン類の天然抽出物・合成サンプルを本学に持参した。これがここに展示されている試薬サンプルである。

ここに展示されている試薬サンプルは、鈴木梅太郎によって世界で初めて発見、抽出されたチアミン（ビタミン B1）である。明治 43 年に鈴木は米糠からこの物質の抽出に成功して、脚気に有効であることを報告した。そして明治 45 年に、稲・米のラテン語名 oryza から「Oryzanin オリザニン」と命名したのである。

このビタミンＢ１の発見はまさに世界最初の快挙ではあったが、同時期に脚気の原因について研究し、鈴木のオリザニン発見の翌年明治 44 年に、やはり米糠からこの物質を発見・抽出したカシミール・フランク(ポーランドの生化学者)に「世界最初の発見者」の栄誉を譲ることになった。その原因については、鈴木の論文が当初日本語で書かれたこと、当時の日本陸軍の軍医総監であった森林太郎(森鴎外)を始めとする、脚気を伝染病とする保守的な医学界から徹底的に無視されたことなどがあげられる。

④世界初の「二母性マウス かぐや（KAGUYA)」の誕生／1 階展示室

河野友宏（元バイオサイエンス学科 教授）作出 －平成 26 年 9 月から展示開始－



「かぐや」は平成 16 年に、東京農業大学バイオサイエンス学科の動物発生工学研究室で河野友宏教授によって、精子と卵子の受精を経ずに卵子だけで作出された世界初のマウスである。私たちヒトをはじめとする哺乳類は、遺伝的には必ず父親と母親を必要とするが、この「かぐや」には、遺伝的な父親はおらず 2 匹の母親（二母性）の遺伝子のみから誕生した。子が持つ染色体の半数は父親（精子)、そして残りの半数は母親（卵子）に由来するが、哺乳類の染色体には、父親だけが持つ印と母親だけが持つ印が存在し、この印によって、父親の染色体からのみ発現する、または母親の染色体からのみ発現する遺伝子がプログラムされている。このように、私たちの体の中で、父親由来か母親由来かという記憶を持ち続け、その記憶によって働くか働かないかが決まる

遺伝子発現の制御調節システムを「ゲノムインプリンティング」という。この仕組みがあるため、通常、母親の染色体しか持たない受精卵は、父親の染色体からのみ発現する遺伝子が足りなくなり発生途中で必ず死んでしまう。そこで遺伝子組換え技術を用いて、2 匹のうち 1 匹の母親マウスの染色体を父親の染色体の印を持つようにプログラムしなおし、この母親由来のゲノムにおける特定の遺伝子の発現を、父親由来のゲノムに近い状態へと人為的に変化させて、疑似的父親の染色体をもつ卵子にした。こうして父親由来の染色体と同じような性質を持たせた卵子の核を、正常な母親マウスの卵子へ核移植することで生まれたのが「かぐや」である。なお、「かぐや」は、正常に発育して繁殖能力も備えており、雄と交配後、正常に産子を分娩した。
※ゲノム…染色体のＤＮＡに含まれるすべての遺伝情報のこと

⑤榎本武揚のテーブル／1 階展示室～ロシアから持ち帰り愛用したといわれるもの～
－平成 27 年 10 月から展示開始－

本学の創始者である榎本武揚がロシア特命全権公使時代の明治 11 年、帰国の折に持ち帰ったものとされています。本学図書館の創設に大きな役割を果たし、農大図書館分類表を確立した故・大野史郎（本学大正 7 年卒）がそれを伝えてきました。このテーブルは本学の歴史を伝える生きた教材となっている。



⑥法人と大学の歴史・沿革のパネル展示／1 階展示室　－平成 25 年 4 月から展示開始－

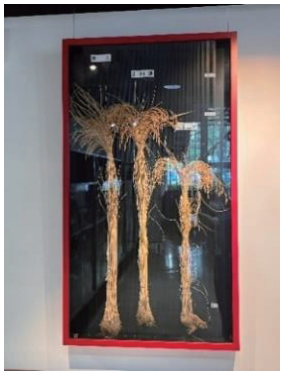
本解説パネルでは、東京農業大学の歩みをたどりながら、日本の「食」と「農」の発展に寄与してきた本学の歴史と功績について学ぶことができる。



⑦稲の標本／1 階展示室　－平成 27 年 9 月から展示開始－

東京農業大学の初代学長・横井時敬は、高濃度の塩水に稲の種もみを浮かべて良否を判別する「塩水選種法」を考案した農学者で、「稲のことは稲に聞け、農業のことは農民に聞け」という言葉に象徴されるように、現場を重視する実学主義を掲げ、その理念は現在も東京農業大学に受け継がれている。

a）浮稲【英名】Floating Rice【学名】Oryza Perennis【採集地】Battambang, Cambodia
【採集年月日】昭和 41 年 2 月 3 日【採集者】伊東信吾
b）神力、山田錦、松山三井　※採集地・採集年月日等のデータなし
c）あきたこまち、亀ノ尾 4 号　※採集地・採集年月日等のデータなし


※令和 7 年度追加展示

⑧南禮蔵・麻生昇平リン鉱石コレクション／1 階展示室　－平成 28 年 4 月から展示開始－

※令和 4 年度に展示内容を更新

リン鉱石とは、リン灰石（アパタイト）を主体とした鉱石で、成因により火成岩質リン鉱石、堆積岩質リン鉱石、グアノ質リン鉱石の大きく三つに分類することができる。世界で使用しているリン製品のほとんどはリン鉱石から得られている、日本では産出量がごくわずかであるため、輸入に頼っており、その 7 割以上は肥料や家畜肥料添加物など農業用に利用されている。日本の農業は海外からの資源の供給に依存して成り立っている。南禮蔵と麻生昇平によって集められたリン鉱石コレクションは、現在でも本学の農芸化学科の卒業論文等の実験に用いられている。





⑨（一財）進化生物学研究所コレクション／1 階展示室　－平成 16 年 4 月から展示開始－

「スナネズミ」「ダトニオイデス」「シーラカンス（化石）」「オオシャコガイ」「シファクティヌス・アウダクス」「セルフィンプレコ」等、当博物館とゆかりの深い（一財）進化生物学研究所のコレクションを展示している。



スナネズミ



ダトニオイデス



シーラカンス（化石）



シファクティヌス・アウダクス



オオシャコガイ



バイオリウムツアーの様子（要予約）

(2)鶏の学術標本コレクション／2 階展示室

当館の鶏コレクションは、多様な品種や姿を通して、鶏の歴史や文化を伝える貴重な資料である。

剥製標本の多くは、1970 年代に全国各地から収集された鶏をもとに制作されたもので、本学名誉教授らによる収集されてきた。また、民芸品は、本学卒業生であり西川畜産奨学財団を創立した西川哲三郎氏が世界各地で収集したもので、木工、陶器、紙細工、土人形などの作品には、地域の暮らしや文化、鶏に寄せられた人々の思いが表現されている。本コレクションは、鶏と人との関わりを知ることのできる展示であり、音声ガイダンスを通じて、より深く楽しむことができる。

品種と個体数			摘　　要
① 野　鶏	4 種	10 体	※ 詳細は下表【鶏の剥製標本コレクション 42 種 125 体の内訳】を参照
② 日本鶏	27 種	94 体	
③ 外国鶏	11 種	21 体	
合　計	42 種	125 体	
④ 「各種家禽寫生圖」農科大学教授農学博士本田幸介先生圖案兼説明　－2014 年 4 月から展示開始－			
⑤ 世界の鶏民芸品【西川哲三郎コレクションから】			

【鶏の剥製標本コレクション 42 種 125 体の内訳】

品　種			オス	メス	計
ヤケイ	アオエリヤケイ　(※1)		1	1	2
	セイロンヤケイ		2	1	3
	セキショクヤケイ		2	1	3
	※セキショクヤケイ骨格標本 1 体				
	ハイイロヤケイ		1	1	2
日本鶏	烏骨鶏		1	1	2
	尾長鶏（※2）		2	2	4
	河内奴		1	1	2
	熊本種		1	1	2
	久連子鶏		1	1	2
	黒柏鶏		1	1	2
	声良鶏		1	1	2
	東天紅		1	1	2
	唐丸		1	1	2
	蓑曳鶏（猩々）		1		1
	岐阜地鶏		1	1	2
	高隆寺地鶏		1	1	2
	三重地鶏		1	1	2
	土佐小地鶏		1	1	2
	龍神地鶏		1	1	2
	薩摩鶏	白色	1	1	2
		赤笹	1	1	2
		白笹	1	1	2
	大軍鶏	赤笹	1	1	2
		白色	1	1	2
	小軍鶏	赤笹	1	1	2
		碁石	1	1	2
		白色	1	1	2
		白笹		1	1
	南京軍鶏		1	1	2
	越後南京軍鶏		1	1	2
	小国	白色	1	1	2
		白藤	1	1	2

品　種			オス	メス	計
日本鶏	矮鶏	浅黄	1	1	2
		淡毛猩々	1	1	2
		糸毛	1	1	2
		淡毛猩々	1	1	2
		桂	1	1	2
		銀笹	1	1	2
		銀鈴波	1	1	2
		黒色	1	1	2
		碁石	1	1	2
		逆毛	1	1	2
		三色碁石	1	1	2
		猩々	1	1	2
		白色	1	1	2
	鶉矮鶏	赤笹	1	1	2
		三色碁石	1	1	2
	尾曳		1	1	2
	名古屋種		1	1	2
	比内鶏		1	1	2
	宮地鶏		1	1	2
外国鶏	アンダルシャン		1		1
	インギー鶏		1	1	2
	オーストラロープ		1	1	2
	オールドイングリッシュ・ゲームバンタム		1	1	2
	ポーリッシュ		1	1	2
	ハムバーグ		1	1	2
	ペキンバンタム		1	1	2
	ミノルカ		1	1	2
	サセックス		1	1	2
	ロードアイランドレッド		1	1	2
	プリマスロック		1	1	2
合 計			64	61	125

(※1)「アオエリ野鶏」の 1 対 2 体は「学術標本研究会 JSAC」所蔵

(※2)「オナガドリ」の 2 対 4 体の内 1 対 2 体は「学術標本研究会 JSAC」所蔵

関連の展示【ウィングレス観察標本】

ウィングレス（無翼鶏）	剥製標本	1
	骨格標本	1
正常鶏	骨格標本	1
ヒナの透明標本	無　翼	1
	正常翼	1

関連の展示【比べてみよう「タマゴ」】

名古屋	1	ダチョウ	1
烏骨鶏	1	エピオルニス(模型)	1
アロウカナ	1	イリエワニ	1
ウズラ	1	マレーガビアル	1
マナヅル	1	クチヒロカイマン	1
エミュー	2		



鶏展示



展示ケースと解説パネル



各種家禽寫生圖



比べてみよう『タマゴ』



西川コレクション

(3)多種多様な酒器のコレクション／２階展示室

本学醸造科学科の創設者の一人である住江金之のコレクションを中心とした酒器や絵画などを多数展示している。日本をはじめ世界各地の醸造文化について、用途や歴史的背景の異なるさまざまな資料を通して、立体的かつ多角的に理解できる展示となっている。

通番	展示品名	展示内容
【１】沖縄から九州へ　～泡盛と焼酎～		
1	抱瓶　ダチビン	抱瓶 5
2		抱瓶 2
3	カラカラ	カラカラ 1
4		カラカラ 1
5		カラカラ 1
6	ガラ（大分）	ガラ 1・チョコ 5
7	嘉瓶　ユシビン	ユシビン 1・チョコ 5 嘉瓶の「切手」2 枚
8	松竹梅模様酒瓶　泡盛用 【小橋川永弘　作】	酒瓶 1・チョコ 6
9	チョカ	チョカ 1・チョコ 2
10		チョカ 1
11		チョカ 1
12		チョカ 1・チョコ 5
13	チョカ（大）	チョカ(大) 1 チョコ(大) 2

14	椰子小　ヤーシグワ	椰子小 1
		椰子小の「切手」1 枚
15	焼酎容器（鹿児島県）	陶製方形容器 1
16	鹿児島藷焼酎用盃　二客	盃 2
17	琉球酒器（湯庫）湯庫と瓶子	湯庫 1・瓶子 1
		湯庫の「切手」2 枚
18	染付四君子図徳利（泡盛販売用）	徳利 1
19	泡盛瓶　二種	酒瓶(徳利) 2
20	泡盛酒壺	壺 1
21	南蛮壺	壺 1
22	焼酎壺	壺 1
【2】器を楽しみ酒に酔う		
23	赤絵徳利	徳利 2
24	徳利　古九谷焼	徳利 2
25	鶏冠壺	徳利 1
26	徳利　瓢形　瀬戸黒	徳利 1
27	鶯徳利	徳利 2
28	鶯徳利と鶯杯	徳利 1・杯 1
29	鶯杯	杯 2
30	杯　杯収納ケース	杯 1（ガラス製） 杯収納ケース 1（竹製）
31	緑色硝子燗瓶　桜花模様	硝子製徳利 1
32	鳩徳利	徳利 1
33	陶製ちろり	ちろり 1
34	鴨燗	鴨型徳利 1
35	チロリとチョコ	チロリ 1・チョコ 1
36	徳利、燗徳利各種	徳利・燗徳利 8
37	益子焼燗瓶	燗徳利 1
38	褐釉把手付瓶	徳利 1
39	丹波立杭焼徳利	徳利 1
40	耶馬渓焼　徳利とチョコ	徳利 1・チョコ 1
41	南蛮人徳利	徳利 1
42	風景画徳利	徳利 2
43	赤絵徳利	徳利 1
44	ユーモラスな徳利（今夜もちどり足）	徳利 1
45	河童徳利	徳利(河童本体) 1・チョコ(河童頭部) 1 ※ 河童人形 1
46	こけし徳利	徳利(こけし本体) 1・チョコ(こけし頭部) 1
47	さざえ徳利	徳利 1・チョコ 1
48	会津庄助さん徳利	徳利(こけし本体) 1・チョコ(コケシ頭部) 1
49	達磨おかめ杯と徳利	徳利(こけし本体) 1・チョコ(こけし頭部) 2
50	狸燗瓶	徳利 1・チョコ 1
51	狸徳利	徳利 1・チョコ 1
52	狸徳利	徳利 1・チョコ 3
53	屋久杉の徳利とチョコ	徳利 1・チョコ 2
54	銘木盃　【青峰重倫　作】	盃 5・木箱 1
55	ひえつき杯	杯 2・箸置き 2
56		杯 3・箸置き 3
57	枡杯	枡杯 3・サイコロ 1
58		枡杯 3
59	白磁屠蘇提子	陶製提子 1
60	磁製老酒瓶	徳利 1
61	玉杯	杯 6（金張り痕跡有・肉厚）
62		杯 9
63		高台杯 1
64	福光玉杯	杯 2・木箱 1
65	船徳利	徳利 1
66	馬上杯　二種	杯 2（萩焼）
67		杯 5（萩焼）
68	杯と杯台　二種	杯 1・杯台 1（九谷焼）
69		杯 1・杯台 1

70	温湯燗酒杯	杯 1・蓋つき杯台 1
71		杯 1・蓋つき杯台 1
72	徳利　二種（常盤松出土）	徳利 2
73	瓢箪（杯付き）	瓢箪 1・杯 1（紐で連結）
74	可杯	杯(大・中・小) 3
75	男女杯　二種	杯 2
76		杯 2
77	春画杯	杯 4
78	浮寳歌謡杯	杯 1
79	美人杯	杯 1
80	座興杯	杯 6（天狗 2、ひょっとこ 2、おかめ 2）サイコロ 1、箱 2
81	金張杯と箸置	杯 1・箸置 1
82	鶴卵金蒔絵杯	杯 1
83	黒漆山水人物螺鈿杯	杯 1
84	方形組杯	杯 10
85	杯	杯 7
86	酒杯	杯 1
87	高粱酒杯　二種	杯 2
88	琵琶杯	杯 1
89	袋杯	杯 1
90	三組杯・杯台	杯 3・杯台 1
91	七福神図朱杯	杯(七福神図) 1
92	酒入	朱塗方形容器 1
93	平型盃	朱塗平型盃(松模様) 3
94	朱塗盃	朱塗盃(南天模様) 5
95	朱塗三組杯　松竹梅鶴亀蒔絵	朱塗蒔絵杯 3
96	共飲盃	共飲盃(盃 2 つの連結盃) 1
97	盃洗	杯洗 1
98	黒田節人形	博多人形 1
99	ちろり と チョコ（錫）	錫製ちろり 2、同チョコ 5
100	ちろり（銅）	銅製ちろり 1
101		銅製ちろり 1
102	利休チロリ	錫製ちろり 1
103	野外酒燗器	本体(長火鉢型)木部 1、同銅部 1、銅製チロリ 2、チロリ用蓋 2
104	錫製酒瓶（提子）	錫製提子 1
105	酒燗器	錫製酒燗器(提子型) 1
106	提重または行厨、野弁当	手提げ本体(蓋付き) 1、銘々皿(本体蓋内部へ収納) 4、弁当箱／大(蓋付き)1、中(お重で蓋 1 付き) 4、小(蓋付)1、錫製酒入 1、同チョコ 1
107	野外酒燗器（野風呂）	銅製本体 1、同チロリ 2
108	カッポ酒　竹筒と酒杯	竹筒 1、竹製杯 3
109	野風呂	銅製本体 1、同チロリ 1
110		銅製野風呂 1
111	燗鍋	鉄製酒燗用の鍋 1
112	提子	銅製提子 2
【3】信仰と酒器		
113	松尾大社　京都府京都市	護符 2、徳利(杯付き) 2、かわらけ 1、醸酒御守包 1、しゃもじ 1、松尾大社略記 1
		徳利 1、杯 1、御神水 1、販酒守 1、服酒守 1、醸酒守 1
114	伊勢神宮神饌用土器	素焼き土器　7 点
【4】歴史を見た酒器		
115	白磁菊花浮出燗瓶　紀元二千六百年記念恩賜	徳利 1
116	皇太子降誕記念恩賜	杯 1
117	御大典記念杯	杯 1
118	明治四十二年　特別大演習恩賜杯	杯 1
119	大正二年　特別大演習恩賜杯	杯 1
120	大正四年大禮恩賜杯	朱杯 1

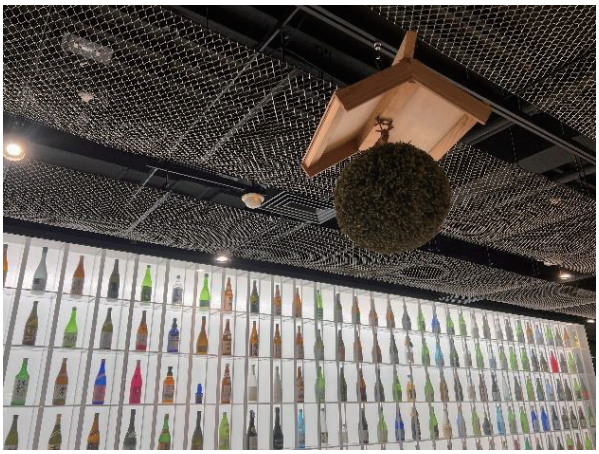
121	賜杯　各種	杯 6
122	凱旋退営記念杯、除隊記念杯　各種	徳利 1、杯 35
【5】酒を入れる・運ぶ		
123	竹筒酒樽	酒樽 1
124	指樽	指樽 1（小）
125	指樽	指樽 1（大）
126	白酒徳利	徳利 1
127	保命酒　角徳利三種と出前箱	徳利 3（大・中・小）、出前箱（前蓋付き）1
128	柄付　合升枡　朱塗	柄付枡 5（1 升、5 合、2 合、1 合、5 勺）
129	柄付　合升枡　白木	柄付枡 5（1 升、5 合、2 合、1 合、5 勺）
130	角樽	角樽 2
131	角樽	角樽 1
132	古式角樽	古式角樽 2
133	通徳利	通徳利 2
134	通徳利	通徳利 2
135	通徳利	通徳利 3
136	通徳利	通徳利 3
137	夫婦瓢箪	大瓢箪 1 染付磁製大瓢箪形壺 1
138	大瓢箪	大瓢箪 1
139	小瓢箪	小瓢箪 1
140	竹筒酒入	竹筒酒入(紐で蓋を連結）1
141	薦被り壺	薦被り酒壺（多聞） 2
142	磁製壺	磁製の酒壺（西海） 1
143	通徳利（醤油用）	醤油用の徳利 1
144	通徳利（酢用）	酢用の徳利 1
145	酢徳利（備前焼）	酢用の徳利 1
146	コンプラ醤油瓶	コンプラ醤油瓶 2
147	輸出用醤油瓶	醤油瓶 1
148	通がめ（醤油用）	醤油用の甕 1
【6】海外の独特な酒器		
149	土焼酒瓶	素焼きの酒瓶 1
150	爵　中国	爵 2
151	酒燗器（鉄）２台	鉄製の酒燗器 2
152	錫製酒瓶　中国	錫製酒瓶 3
153	真鍮彫刻酒器　イラク	真鍮製コップ 1
154	酒燗器（錫）と杯 中国満州	酒燗器 1、酒瓶 1、杯 2
155	酒燗器（銅） 中国	酒燗器 1、酒瓶 1
156	瓔珞杯　韓国　新羅窯	瓔珞杯 1
157	共飲杯　台湾高砂族	木製共飲杯 1
158	手製の壺　またはコップ	手製の壺 1
159	インディオの酒器　または食器	素焼きの動物形食器
160	チベット族の酒器　ネパール	銅製の杯 3、同杯台 3
161	ネワール族の酒器　ネパール	真鍮製の酒瓶 1（鳥形の栓つき）
162	チベット族の酒器　ネパール	木製筒型酒器 1
163	ベネチアングラス酒器セット	ガラス製酒瓶 1（栓つき）、グラス 6
164	ワイン試飲用スポイト　フランス	スポイト 1
165	タートヴァン　ワイン試飲用器　フランス	タートヴァン（検査杯）2
166	ドイツ　ミニチュア酒瓶	革製 2、陶製 1
167	ビアジョッキ	ビアジョッキ 3、Bier Munze（擬硬貨）2
168	革袋（山羊皮）アルゼンチン	革袋 3
169	革袋　フランス	革袋 1
170	革袋　コンゴ	革袋 1
【7】絵に描かれた酒の楽しみ		
171	「機嫌競　貧書生　倡婢」月岡芳年	
172	「飲酒を戒める教訓画」　昇斎一景 「酒一合は百薬の長　心の結を解く」「二合にして肴を汲む」	
173	「飲酒を戒める教訓画」　昇斎一景 「三合にして心替る」「四号にして心の手綱ゆるむ」	
174	「いろいろな酒癖　笑泣怒の三上戸」　小林清親	
175	「いろいろな酒癖　連れを困らせる」　小林清親	

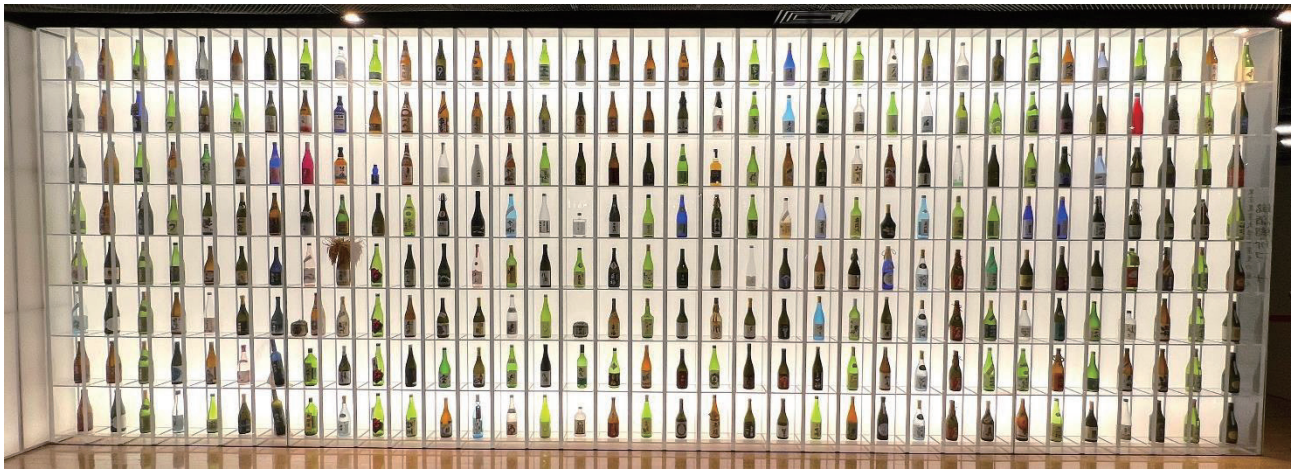
176	「いろいろな酒癖　機嫌がよくなる」　小林清親	
177	「三人猩々酩酊之図」　喜多川哥麿　画	
178	「教訓　親の目鑑　俗に云うばくれん」　喜多川哥麿	
179	「毛唐人遊宴之図　横浜岩亀楼」　一川芳員	
180	「凧絵」（酒呑童子）	
181	「水楼遊宴図」　歌川豊春	
182	「猩々なまゑい」　歌川豊国	
183	「僊法酔甦膏報状」　歌川国長	
184	「大酒ノ大会」　歌川国芳	
185	「鎌倉三人なまゑい」	
186	「居酒屋図」	
187	「七福神豊年遊」　歌川国芳	
188	「酒興教訓草」　川鍋暁斎	
189	「学習院宴会図」　楊州周延	
190	「酒造絵図」　青巌　画	
【８】古式酒造り（フロア直置き展示）		
191	洗米桶	洗米桶 大 1、小 1
192	釜	釜 1、洗米桶 小 1
193	甑	蓋付き 4 段重ね 1 組
194	古式麹蓋	5 段重ね 1 組
195	麹蓋	小 5 段重ね 1 組、大 2 段
196	仕込み桶	仕込み桶 1
197	暖気樽	暖気樽 1
198	暖気樽	暖気樽 2
199	量り桶	量り桶 大 2
200	櫂棒	櫂棒 2
201	柄杓	柄杓 2
202	溜め桶	溜め桶 1
203	搾り袋	搾り袋 2
204	酒槽	酒槽（しゅそう・さかふね）1
205	納め桶	納め桶 2
206	角樽	角樽 2
【９】その他		
206	輸出用　超高級清酒「スイートピー」瓶詰（未開栓）	瓶詰清酒 1 本と箱
207	酒林	酒林（杉玉）1
		構造解説用の酒林 1
208	住江金之　銅像	
209	住江金之作　酒器	徳利 1、チョコ 3、のれん 1
【１０】創作和人形「古式酒造り」草薙郷子（秋田県）作		
210	「収穫・脱穀・精米」和紙人形 5 体	
211	「蒸冷し・蒸米運び・捻餅・甑とり」和紙人形 7 体	
212	「米洗い・水汲み・麹づくり」和紙人形 6 体	
213	「酛すり・仕込み・本仕込み」和紙人形 6 体	
214	「袋詰め・搾り・菰樽・杉玉」和紙人形 7 体	
215	「婚礼」和紙人形 13 体	

(4)東京農業大学卒業生の蔵元「銘酒紹介コーナー」／2 階展示室

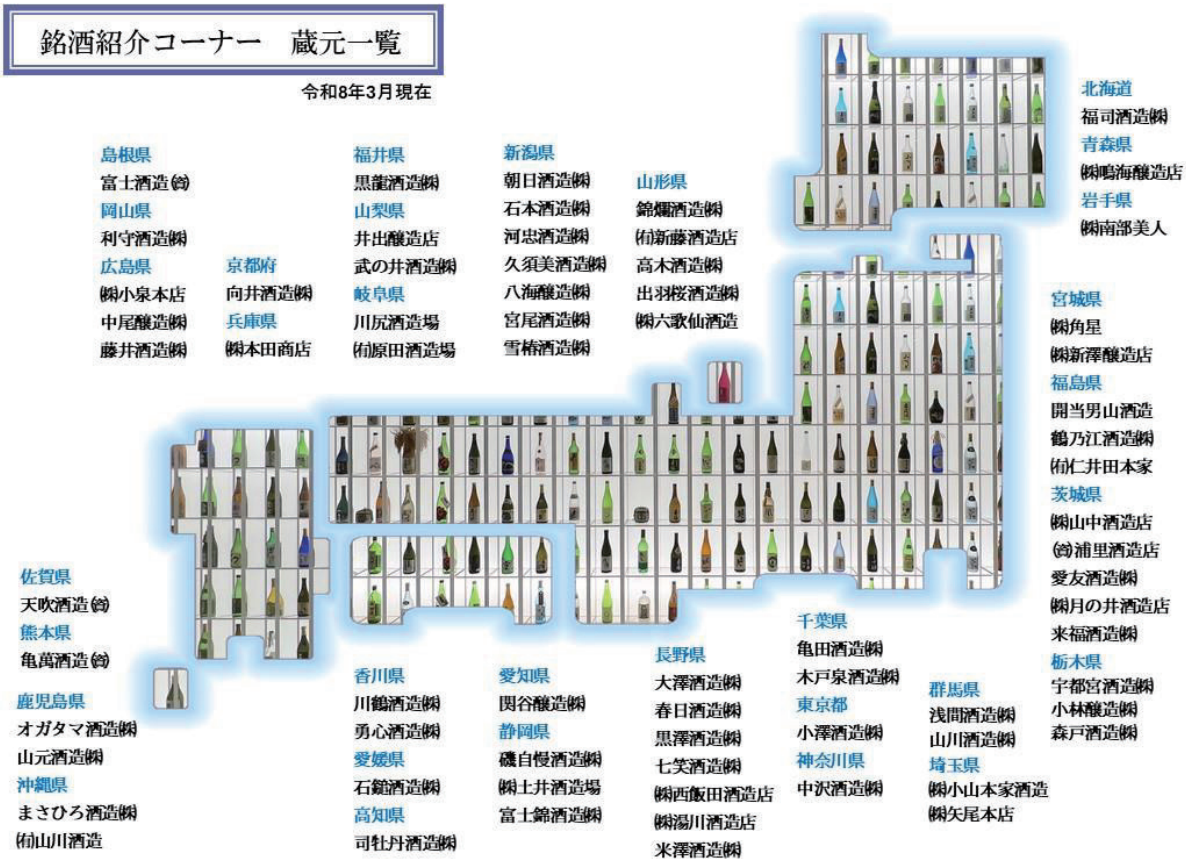
当博物館では、「農大卒業生の蔵元紹介コーナー」という形で、本学を卒業し活躍している全国の蔵元の方々が製造した日本酒、焼酎、泡盛など多彩な酒瓶を展示している。







＜銘酒紹介コーナー　蔵元一覧＞



(5)農大「村の古民家」(日本の古民家再現ジオラマ展示)／2 階展示室

敷地面積(ステージ)　43.74 ㎡　13.25 坪
建物総面積　25.92 ㎡　7.8 坪(板の間　11.34 ㎡　3.4 坪／土間 14.58 ㎡　4.4 坪)

本館では学術情報課程の協力により、古農具の歴史的背景や使用方法について、観覧者がイメージし易く且つ理解の助けとなるように、平成 26 年 4 月から農家の古民家を再現したジオラマを一緒に展示している。ジオラマとは資料とその環境や背景を立体的に再現するもので、観覧者にとって総合的な理解につながる展示となっている。本館では、これを農大「村の古民家」と呼び、多くの古農具の展示に活用している。

「食と農」の博物館が所蔵する資料の中に、現在約 3,000 点の古農具がある。農具収集の歴史は、本学前身の大日本農会附属私立東京高等農学校初代校長で、伊勢神宮の農業館を創った田中芳男が明治 37 年に標本室を設置したことに始まる。しかし先の戦災で全ての古農具を焼失し、現在収蔵のものは昭和 43 年から全国の校友や父兄関係者の協力により寄贈されたものである。この収集は戦後、どこの他機関よりも早く取り組まれており、それらは産業考古学会から「日本の産業遺産 300 選」の指定を受け、本学の誇る学術コレクションのひとつになっている。

「村の古民家」は、特定の地域のものを対象とした復元ではないが、関東地方に現存した江戸後期に建てられた稲作農家の一部を参考に再現している。展示の計画・製作の過程で、限られた展示空間でもあり、また教材として安全に扱いやすくすることを考慮して、多少デフォルメした形での古民家モデルとした。



古民家展示正面



古農具



「糸車」岩手県九戸郡種市



古民家屋内の展示

古民家「かまど」





昭和 30 年代までの農家では、鶏が放し飼いされ、夕刻には野犬などの動物から襲われないように、土間にある鳥屋(とや)に入れ戻されて飼われていた。また、母屋につながる厩(うまや)では牛や馬が飼われていた。農家の人たちの日々の生活では、家畜は家族の一員でもあった。人と家畜がひとつ屋根の下で暮らすということは、現代社会のペット飼育で見るようなかかわり方とは全く異なる。一見、当時の長閑な光景として思われがちであるが、実際は貧しく厳しい生活環境の中での暮らしであり、人と家畜の間には共に生きる上での絆が育まれていたのである。この「村の古民家」での鶏の放し飼いを再現した展示は、かつての生き物との共生の一端をイメージさせるものとなっている。

（6）ビール缶・古農具・標本・化石の常設展示・紹介／サイエンスポート１階

①ビール缶コレクション

本展示は、本学国際農業開発学科の河合省三名誉教授が個人的に収集したビール缶コレクションの一部である。その数は、国内外のメーカー品の350ml 缶と 500ml 缶を合わせて約 2 万缶に及ぶ。

収集期間は、日本で缶ビールの製造・販売が開始された数年後の昭和 40 年代半ばから平成 15 年頃に及び、国内外のビール缶デザインの歴史を伝えるコレクションとなっている。

本展示は、教育後援会の寄付により制作した。



②古農具コレクション

東京農業大学の古農機具コレクションは、本学校友からの寄付および古農機具消滅の危機を憂慮した梅室英夫（元「食と農」の博物館副館長）の尽力により収集された。

本コレクションは、「所得倍増計画」に続く農業近代化政策として制定された「農業基本法」により、モータリゼーションが本格化する以前の昭和 37 年以前に使用されていた農機具を古農機具と定義している。

貴重な農業遺産を多面的な視点から活用するため、その一部を収蔵展示している。

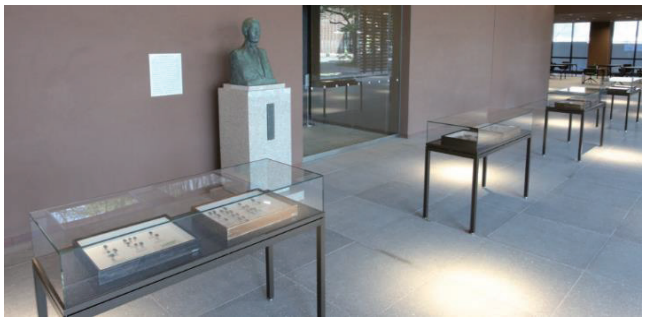
本展示は、教育後援会の寄付により制作した。





③（一財）進化生物研究所コレクション（標本・化石）

貴重な昆虫標本コレクションの他、不定期で化石なども展示している。







2.特別展示・企画展示・小企画(短期)展示

(1) 特別展示・企画展示

①企画展示：地域創成科学科展 五感で学ぶ！ちいきのひみつ

我が国の里山等の農山村地域は水資源涵養や食料生産、環境保全等の重要な役割を担ってきた。しかし、少子高齢化や人口減少、都市域への人口集中に伴う過疎化の進行によって、農山村地域の担い手不足が顕在化するとともに、頻発する自然災害に対する不安等とも相まって、地域社会の持続性の低下とそれに伴う自然環境や生活文化の多様性の喪失が懸念されるようになった。

この企画展示では、「五感で得られる楽しみ・学習」をコンセプトに、生物多様性豊かで持続可能な地域社会を築くための地域の視方、調べ方、創り方を最新の調査研究・技術を用いて紹介。展示は、幼児・児童・中高生、視覚障害者や聴覚障害者などの感覚障害をお持ちの方への情報アクセシビリティを高めている。「五感で学ぶ！ちいきのひみつ」というタイトルには、「ひみつ」というキーワードから、地域を構成する生き物、環境、生態系、社会基盤、地域社会とのつながりを地域の「ひみつ」として、参加者が発見してほしいという願いを込めた。

○展示案内番号：No.90　※展示案内番号とは、当館がこれまで発行した展示案内の通し番号
○会　期：令和5年4月21日(金) ～令和5年8月31日(木)
○会　場：1階企画展示室
○主　催：東京農業大学「食と農」の博物館、東京農業大学地域創成科学科
○企　画：東京農業大学地域創成科学科博物館企画展示実行委員会
【委員長】町田怜子（地域創成科学科地域デザイン学研究室）
【委　員】藤川智紀（地域創成科学科地域環境工学研究室）
亀山慶晃（地域創成科学科保全生態学研究室）
武田晃治（地域環境保全学研究室（地域創成科学専攻大学院）/教職課程 化学教育研究室）
下嶋聖（地域創成科学科地域環境保全学研究室）
○協　力： 愛川町郷土資料館、小谷村伊折農業生産組合、太平洋プレコン工業株式会社、
東京農業大学稲花小学校
○催　事：講演会「五感で感じる私の世界　視覚障がいを知る・学ぶ」
【日時】令和5年7月8日（土） 午前の部 10:00～11:30、午後の部 14:00～15:30
【会場】1階映像コーナー・1階企画展示室
【講師】町田怜子（地域デザイン学研究室 教授)、茂木もも子（地域デザイン学研究室 助教)、
池内風香（地域デザイン学研究室 修士課程2 年)、
サルバドール・ノア（地域デザイン学研究室 修士課程2 年）
体験講座①「カラフルザリガニ科学教室」
【日時】令和5年7月15日（土） 14:00～15:30
【会場】1階映像コーナー
【講師】武田晃治（大学院地域創成科学専攻 教授）
体験講座②「昆虫標本づくりに挑戦してみよう！」
【日時】令和5年7月22日（土） 12:00～14:30
【会場】2階セミナー室
【講師】井上暁生（昆虫教室虫けら屋)、竹内将俊（地域環境保全学研究室 教授）
体験講座③「防災教室　お菓子で土砂災害実験！」
【日時】令和5年7月29日（土）①10:00～10:40 ②11:30～12:10
③13:00～13:40 ④14:30～15:10
【会場】2階セミナー室
【講師】本田尚正（地域環境工学研究室 教授）
体験講座④「食べて触って！五感で知る万能乾物「切干大根」」
【日時】令和5年8月1日（火）14:00～15:00
【会場】2階セミナー室
【講師】町田怜子（地域デザイン学研究室 教授)、dryfood café mamesaya《乾物のあだち商店》、
植村春香（NPO 法人農業情報総合研究所 理事長）
体験講座⑤「土壌と観察　私たちのくらし」
【日時】令和5年8月19日（土）10:00～12:00
【会場】2階セミナー室
【講師】茂木もも子（地域デザイン学研究室 助教)、藤川智紀（地域環境工学研究室 教授）
体験講座⑥「まだ間に合う！自由研究！地域の調べ方・発表の仕方」
【日時】令和5年8月23日（水）午前の部 10:00～11:00、午後の部 14:00～15:00
【会場】2階セミナー室
【講師】町田怜子（地域デザイン学研究室 教授）
○展示内容と主な資料：
1．来場者と地域とのかかわりの問いかけ
2．地域を取り巻く課題・地域の調べ方（調査道具・標本展示）
3．地域の創り方（都市から農山村まで最新研究）
4．わたしたちと地域（自分たちの地域自慢の参加型展示）

企画展示ポスター・展示風景














②企画展示： 醸造科学科展 JOZOO －醸造と発酵のせかい－

清酒や醤油、味噌、その他様々な発酵食品は、我々の日々の食生活で馴染みがあるが、背景にある製造現場や微生物、さらには世界との関わりについては、それほど良くは知られていない。本展示では、醸造・発酵の産業や科学、商品といった観点から、醸造科学科の教員が面白いと思う 4 つのテーマについて、来館者に醸造・発酵の面白みを感じてもらい、より深く興味をもってもらうことをコンセプトとした展示を行った。

○展示案内番号：No.91　　※展示案内番号とは、当館がこれまで発行した展示案内の通し番号
○会　期：令和 5 年 10 月 12 日(木)～令和 6 年 4 月 6 日(土)
○会　場：1 階企画展示室
○主　催：東京農業大学「食と農」の博物館、東京農業大学応用生物科学部醸造科学科
○企　画：東京農業大学応用生物科学部醸造科学科
○協　力：来福酒造株式会社、合名会社野口酒造店、株式会社菱六、鈴木淳世
○催　事：体験講座①「醸造のせかい～微生物が作る酒の風味と成分～」
【日時】令和 6 年 2 月 10 日（土）　13:00～14:30
【会場】2 階セミナー室
【講師】数岡孝幸（醸造科学科 教授）
体験講座②「発酵のせかい～味の不思議～」
【日時】令和 6 年 2 月 17 日（土）　13:00～14:30
【会場】2 階セミナー室
【講師】前橋健二（醸造科学科 教授）

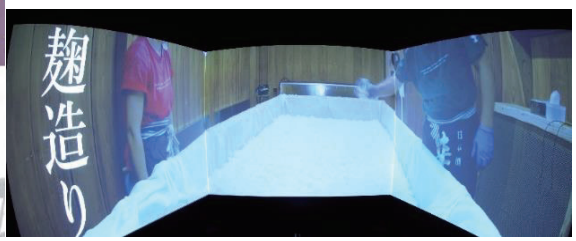
○展示内容：

1．清酒醸造現場の体感：マクロ視点の醸造
2．醸造・発酵で活躍する微生物：ミクロ視点の醸造
3．比べる発酵：世界と日本の発酵
4．醸造のこれまでと未来：酒造りの歴史、醸造の先端研究

企画展示ポスター・展示風景



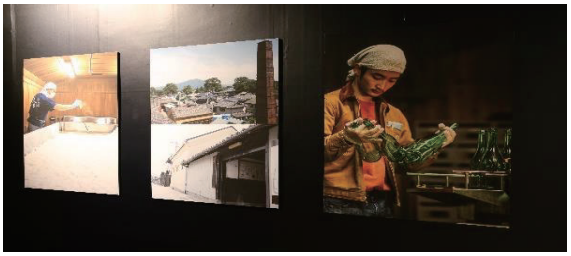


















③企画展示：美しき土壌の世界

地球環境の悪化が懸念される現在、持続可能な開発目標（SDGs）の達成にむけて様々な取り組みがなされている。なかでも「土壌」は、いくつかの SDGs の達成において非常に重要なファクターであり、とくに土壌への炭素隔離は、日本が目指す 2050 年カーボンニュートラル達成において重要な技術的課題の一つである。一方、私達は地下に広がる世界である土壌を表面的にしか見ることができない。言葉や認識としての土壌の重要性は非常に関心が高くなっていますが、地下に広がる土壌を我々が体感する機会はほとんど無いのが現状である。

本企画は、大事だと認識している土壌の世界を来場者に感じてもらうことを目的としている。土壌は物質ではなく環境であり、私達人間が生活している住宅と同じく、土壌微生物や植物（根・地下茎）や土壌動物にとっての居住空間であり、非常に多様な色彩を帯び、複雑な構造を形成している。

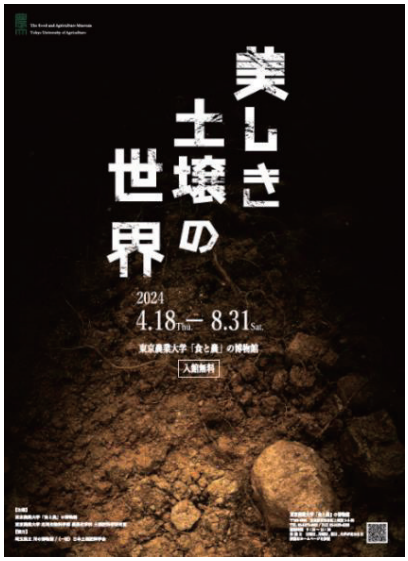
全ての土壌が示す色は、なぜか美しい。土壌は、その場所に存在する環境であり、寒い地方と暑い地方では全然違う土壌ができるのである。森や畑や田んぼ、山や平地でも全然違う土壌ができる。火山の噴火でできた土壌と川の土砂からできた土壌、スギの林やススキの草原でも全然違う土壌ができる。今回の企画では、色々な場所でできた土壌から作ったモノリスを展示し、一斉に見て比べることで、違いを感じる展示とした。

○展示案内番号：No.92　　※展示案内番号とは、当館がこれまで発行した展示案内の通し番号

○会　期：令和 6 年 4 月 18 日(木）～令和 6 年 8 月 31 日(土)
○会　場：1 階企画展示室
○共　催：東京農業大学「食と農」の博物館、東京農業大学応用生物科学部農芸化学科土壌肥料学研究室
○協　力：埼玉県立川の博物館、（一社）日本土壌肥料学会
○催　事：体験講座：泥だんごを作ろう
【日時】①「おとなの泥だんご作り」令和 6 年 5 月 11 日（土）13:00～15:00
②「親子 de 泥だんご作り」令和 6 年 6 月 15 日（土）13:00～15:00
【会場】2 階セミナー室
【講師】加藤拓（農芸化学科 教授）
トークショー：美しき土壌の世界ギャラリートーク
【日時】①令和 6 年 5 月 25 日（土）10:30～11:30
②令和 6 年 6 月 29 日（土）10:30～11:30
③令和 6 年 7 月 6 日（土）10:30～11:30
【会場】1 階映像コーナー
【講師】加藤拓（農芸化学科 教授）

○展示内容と主な資料
1．まだまだ若い土壌
2．火山灰からできる土壌
3．赤い土ができるまで
4．年老いた土壌
5．表面が白い土壌
6．森の土壌
7．日本にある特徴的な土壌
8．川が氾濫してできる土壌
9．触れるモノリス

企画展示ポスター・展示風景

















④企画展示：南極飯！

南極は地球上で、最も厳しい環境（極限環境）にある場所のひとつとされ、そこに滞在する人にとって「食」は命にかかわる重要事項となっている。平均気温が-50℃である南極で様々な観測を行うには、「健康維持」が最も大きな課題の一つであり、同行するシェフが作るあたたかい食事がそれを支えています。昨今では、食品加工の技術革新により南極に持ち込める食材も進化して様々な食事を楽しめるようになった。また、農業技術の革新は、南極基地内での栽培農業を実現してきました。本展示では、極限環境での「食」とその変遷を通して、「健康」を支える「農」にスポットをあて、「食べることの大切さ」を伝えるものとなっている。

○展示案内番号：No.93　　※展示案内番号とは、当館がこれまで発行した展示案内の通し番号
○会　期：令和 6 年 10 月 18 日（金）～令和 7 年 3 月 29 日（土）
○会　場：1 階企画展示室
○主　催：東京農業大学「食と農」の博物館、東京農業大学学術情報課程
○協　力：宮内公文書館､国立極地研究所、（公財）山階鳥類研究所、(株)いわさき、（同）じんから、
（株）ロッテ、エターナルホスピタリティーグループ、くじら専門店らじっく、キッコーマン（株）、
養命酒製造（株）、森永乳業（株）、敷島製パン（株）フジパン（株）、アサヒビール（株）、
ニッカウヰスキー（株）、佐藤焼酎製造場（株）、
○催　事：関連講座①　南極昭和基地風カレー試食会
【日時】令和 6 年 11 月 9 日（土）12:00～13:00
【会場】2 階セミナー室
【講師】竪谷博（西荻窪じんから)、田留健介（学術情報課程 准教授）
関連講座②　元調査捕鯨船上組員に学ぶ　くじらの魅力
【日時】令和 7 年 2 月 1 日（土）12:00～13:00
【会場】2 階セミナー室
【講師】板花貴豊（東京らじっく（同))、田留健介（学術情報課程 准教授）

関連講座③　南極風パフェをつくってみよう！食品サンプル製作体験
【日時】令和７年３月１日（土）10:30～12:00
【会場】２階セミナー室
【講師】岩崎章浩（(株）いわさき）

○展示内容
１．いざ南極へ！
２．南極の大自然＆生きもの
３．第１次隊 隊長飯！
４．再現！ オオトウゾクカモメの巨大焼き鳥！
５．南極飯！
６．昭和基地の「農」
７．南極観測隊 「食」の協力企業

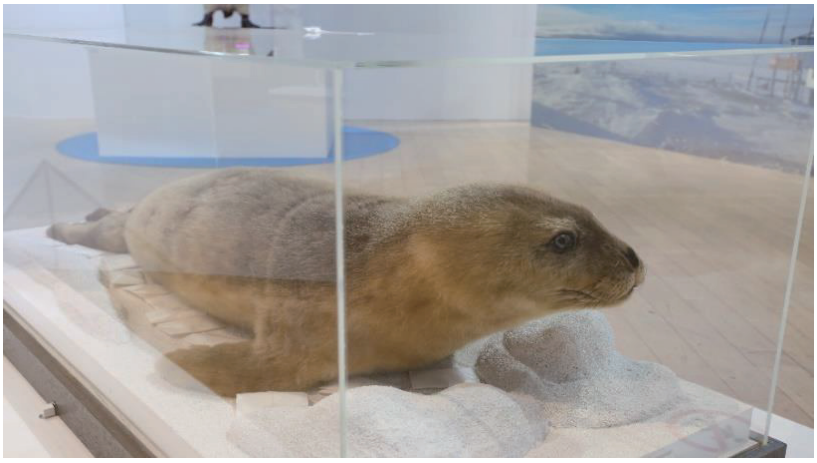
企画展ポスター・展示風景

















⑤企画展示：いきもの研究所の舞台裏

本展示では、（一財）進化生物学研究所が所蔵する資料の管理や保存、調査研究の様子など、研究者の舞台裏において日常的に行われているが通常は見ることができない作業をそのまま展示（演示）する。同研究所は、長年にわたり「食と農」の博物館と連携して情報を発信してきました。本展示は、「生物の証をとどめる」を活動目的とする同研究所の存在意義や魅力をより深く理解頂く機会とした。また、学術的に継承するために欠かせない実物資料の保存方法や博物館法の改正でより重要性が高まったデジタルアーカイブ（電子記録）などの収録作業などを来館者に間近で来館者に理解を促し、普段目にする展示や資料、保存の重要性に興味と関心を持っていただいた。

○展示案内番号：No.94　　※展示案内番号とは、当館がこれまで発行した展示案内の通し番号
○会　期：令和 7 年 4 月 25 日(金）～令和 8 年 3 月 28 日(土)
○会　場：1 階企画展示室
○主　催：東京農業大学「食と農」の博物館
○共　催：（一財）進化生物学研究所
○協　力：東京農業大学学術情報課程
○催　事：関連講座①「昆虫標本のつくり方」
【日時】令和 7 年 7 月 12 日（土）12:00～14:30
【会場】2 階セミナー室
【講師】山口就平（(一財）進化生物学研究所）
関連講座②「アンモナイトのレプリカを作ってみよう！」
【日時】令和 7 年 8 月 5 日（火）13:00～15:00、令和 7 年 8 月 6 日（水）13:00～15:00
【会場】2 階セミナー室
【講師】蒲生康重（(一財）進化生物学研究所）
関連講座③「命の大切さと押収品のお話し」
【日時】令和 8 年 3 月 7 日（土）10:00～11:30
【会場】2 階セミナー室
【講師】今木明（(一財）進化生物学研究所）

○展示内容と主な資料
1．デジタルアーカイブ作業の実演
2．昆虫標本管理・作成の実演
3．押収された自然誌標本の展示
4．期間限定展示
5．資料の搬出入作業の公開

企画展ポスター・展示風景



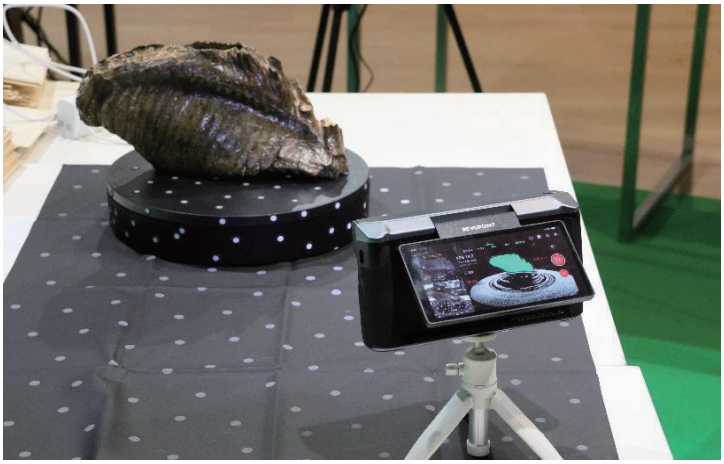







世界最大の虫たち
沖縄にもいる世界最大のガ
メス力大きさは世界最大級
世界最大のバッタ
世界最長のトンボ






さわってOK

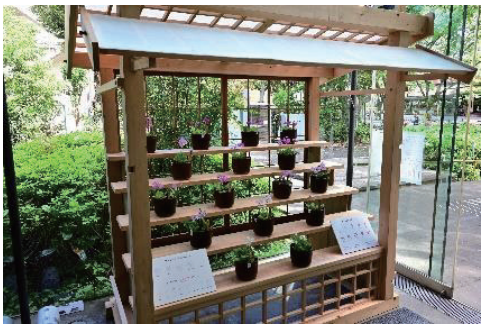
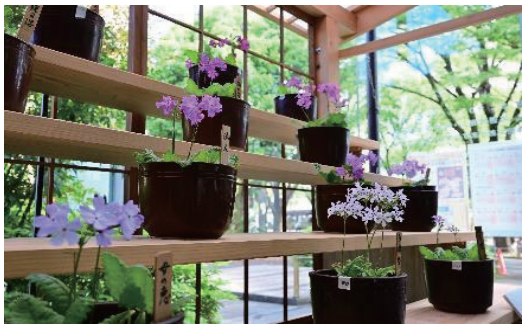
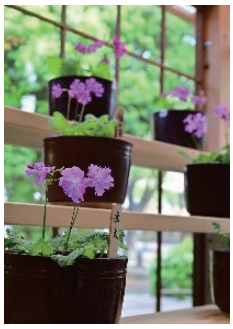


（2）小企画（短期）展示・講演・講座

小企画（短期）展示・講演・講座は、特定のテーマや資料に焦点を当て、期間を限定して実施する教育普及活動の一環である。

①サクラソウ展

○会　期：令和 5 年 4 月 20 日(木)～令和 5 年 4 月 27 日（木）
　　令和 6 年 4 月 25 日(木)～令和 6 年 5 月 1 日（水）
○主　催：(一財）進化生物研究所（令和 5 年度）
　　東京農業大学グリーンアカデミー、東京農業大学学術情報課程（令和 6 年度）
○指　導：桝田信彌　（一財）進化生物研究所客員研究員
○共　催：東京農業大学「食と農」の博物館

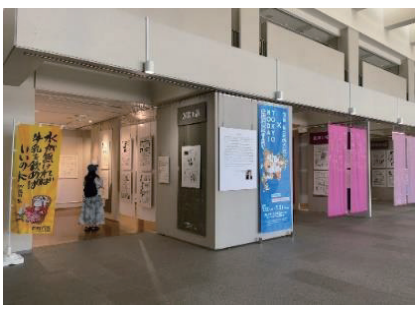
②荒川 弘「百姓貴族」展

○荒川 弘「百姓貴族×百頭目まつり」～真夏の大複製原画展～
○会　期：令和 6 年 7 月 10 日(水)～令和 6 年 8 月 4 日（日）
○会　場：1 階ホール・2 階古民家前
○催　事：アニメ 1 期全話上映会＋澤田裕太郎監督のトークショー
　　【日時】令和 6 年 7 月 13 日（土）14:00～16:00
　　【場所】世田谷キャンパス国際センター2 階榎本ホール





○荒川 弘〈百姓貴族〉TOKYO NODAI IN 北海道オホーツク展
○会　期：令和 6 年 7 月 21 日(日)～令和 6 年 7 月 31 日（水）
○会　場：オホーツク・文化交流センター1 階展示室
○主　催：東京農業大学
○共　催：(株）新書館、網走市、網走市教育委員会
○協　力：網走市観光協会、牛の博物館、國學院大學博物館、中央大学、日本学校農業クラブ連盟
○後　援：農林水産省
○催　事：アニメ 1 期全話上映会＋澤田裕太郎監督のトークショー
　　【日時】令和 6 年 7 月 21 日（土）14:00～16:00
　　【場所】オホーツク・文化交流センター1 階エコーホール





③東京農業大学卒業生の蔵元による日本酒・焼酎　農大試飲会

○会　期：令和 6 年 7 月～令和 7 年 1 月（12 月除く）毎月第四土曜日開催
○会　場：世田谷キャンパス国際センター1 階
○主　催：株式会社農大サポート
○共　催：東京農業大学「食と農」の博物館





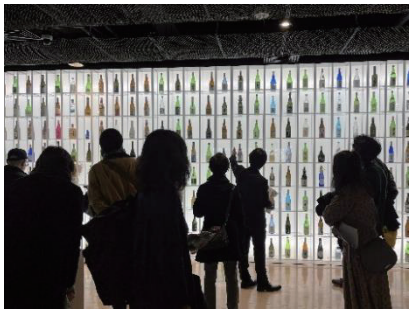
④昆虫の魅力と自然の不思議を一緒に考えよう！昆虫標本づくりに挑戦してみよう！

○会　期：令和 6 年 8 月 24 日(土)、令和 7 年 7 月 26 日(土)
○会　場：2 階セミナー室
○主　催：東京農業大学「食と農」の博物館
○講　師：井上暁生（昆虫教室虫けら屋)、竹内将俊（地域創成科学科 教授）（令和 6 年度）
　　井上暁生（昆虫教室虫けら屋）（令和 7 年度）
○協　力：東京農業大学地域環境科学部地域創成科学科（令和 6 年度）




⑤副館長とめぐる　伝統的酒造りを学ぶ　ミュージアムツアーin 東京農業大学「食と農」の博物館

○会　期：令和 7 年 2 月 15 日(土)
○会　場：1 階映像コーナー（トーク)、2 階展示エリア（ツアー）
○講　師：大西章博（東京農業大学醸造科学科 教授）
○主　催：東京農業大学「食と農」の博物館
○協　力：東京農業大学応用生物科学部醸造科学科


⑥農友会山岳部創部 100 年の歩み

○会　期：令和 7 年 6 月 4 日(水)～令和 7 年 6 月 17 日（火）
○会　場：階段壁画・1 階オープンスペース・2 階古民家前
○主　催：東京農業大学農友会山岳部・山岳会（OB 会）
○代　表：宮崎紘一（東京農業大学山岳会会長）
○企　画：山岳部創部 100 周年記念事業実行委員会





⑦復興農地の大豆で醤油をつくる。大豆と醤油の TALKSHOW

○会　期：令和 7 年 11 月 1 日(土)
○会　場：2 階古民家
○講　師：渡辺和夫（山形屋商店）、小野内善彦（飯豊ファーム）
○主　催：東京農大東日本支援プロジェクト、アグリビジネス学科マーケティング研究室





⑧特集・ウィーン万博（1873 年）とみりん

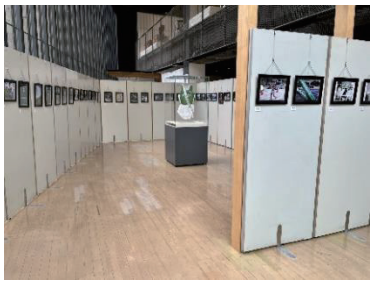
○会　期：令和 7 年 11 月 8 日（土）～12 月 12 日（金）
○会　場：2 階醸造の歴史コーナー
○主　催：東京農業大学「食と農」の博物館
○協　力：流山市立博物館





⑨「走るを、写す」東京農業大学写真部写真展

○会　期：令和 8 年 2 月 10 日(火)～3 月 28 日（土）
○会　場：1 階ホール
○主　催：東京農業大学
○協　力：農友会写真部

⑩「いきもの研究所の舞台裏」特別企画メーリアンの立体昆虫図譜展

○会　期：令和 8 年 2 月 6 日(金)～令和 8 年 3 月 28 日（土）
○会　場：1 階企画展示室
○主　催：東京農業大学「食と農」の博物館
○共　催：一般財団法人進化生物学研究所
○協　力：マロニエ昆虫館、日本蝶類学会
○催　事：蝶愛好家がつないだ情熱のバトン（トークショー）
【日時】令和 8 年 2 月 21 日（土）14:00～15:00
【場所】1 階映像コーナー

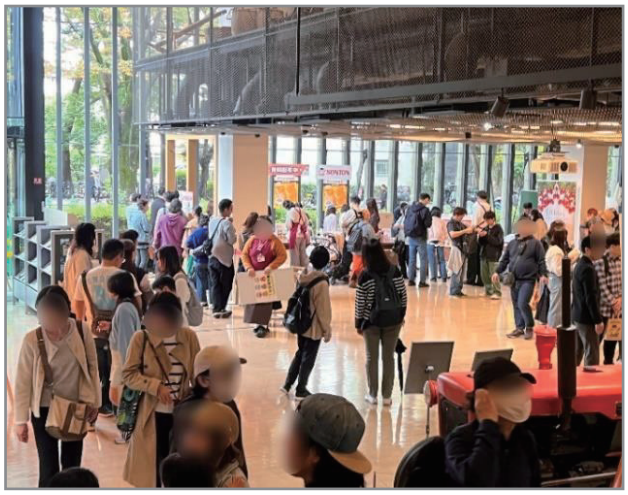





3．CMBOX 及び蔵元紹介コーナー会員によるイベント／施設貸出等

実施年度	実施内容
令和 5 年度	(1)（株）大嶋農場／農大 OB 農場の生産物販売：年 2 回開催 (2)静岡県富士宮市フードバレー／富士宮市ゆかりの商品の販売：原則月 1 回土曜日開催 (3)（同）iroiro／シルク製品の販売等：原則月 1 回土曜日開催 (4)博物館の収穫祭　11 月 3 日(金)～11 月 5 日(日)開催 アルファー食品（株)、(株）大嶋農場、木祖村商工会、(株）新書館、 ニューシルクロード連携協議会、富士宮市フードバレー推進協議会、フードディスカバリー（株）
令和 6 年度	(1)静岡県富士宮市フードバレー／富士宮市ゆかりの商品の販売：原則月 1 回土曜日開催 (2)（同）iroiro／シルク製品の販売等：原則月 1 回土曜日開催 ／シルクの道、これからの道『七夕祭りは絹まつり』　6 月 22 日(土) (3)（株）新書館／荒川 弘「百姓貴族×百頭目まつり」～真夏の大複製原画展 7 月 10 日（水）～8 月 4 日（日）開催 (4)博物館の収穫祭　11 月 1 日(金)～11 月 3 日(日)開催 アルファー食品（株)、(同）iroiro,（株）大嶋農場、かわせい堂、木祖村商工会、(株）新書館、 ソントンホールディングス（株)、富士宮市フードバレー推進協議会、フードディスカバリー（株）
令和 7 年度	(1)静岡県富士宮市フードバレー／富士宮市ゆかりの商品の販売：原則月 1 回土曜日開催 (2)（同）シルク機能総研／シルク製品の販売等：原則月 1 回土曜日開催 (3)博物館の収穫祭　10 月 31 日（金）～11 月 2 日（日）開催 アルファー食品（株)、(同)iroiro、(株）大嶋農場、かわせい堂、木祖村商工会、(株）新書館、 ソントンホールディングス（株)、富士宮市フードバレー推進協議会

「食と農」の博物館　収穫祭の様子





4．刊行物一覧

刊行年度	刊行物
令和 5 年度	(1)展示案内№90　地域創成科学科展：五感で学ぶ！地域のひみつ 【判型】A4 判・本文 8 頁　【印刷】成旺印刷(株)　【発行】令和 5 年 3 月 1 日【発行部数】3,000 部 (2)展示案内№91　醸造科学科展：JOZOO －醸造と発酵のせかい－ 【判型】A4 判・本文 8 頁　【印刷】成旺印刷(株)　【発行】令和 5 年 10 月 1 日【発行部数】4,000 部
令和 6 年度	(1)展示案内№92　美しき土壌の世界 【判型】A4 判・本文 32 頁【印刷】(同)流域共創研究所だんどり【発行】令和 6 年 3 月 1 日 【発行部数】3,000 部 (2)展示案内№93　南極飯！ 【判型】A4 判・本文 20 頁　【印刷】ラスクル(株)【発行】令和 6 年 10 月 1 日 【発行部数】7,000 部 (3)「食と農」の博物館年報 2020・2021・2022 【判型】A4 判・本文 66 頁　【印刷】(株)イーフォー【発行】令和 6 年 4 月 1 日【発行部数】100 部
令和 7 年度	(1)展示案内№94　いきもの研究所の舞台裏 【判型】A4 判・本文 16 頁　【印刷】(株）ネットプロテクションズ【発行】令和 7 年 3 月 1 日 【発行部数】6,000 部 (2)「食と農」の博物館研究紀要創刊号 Vol.1 【判型】A4 判・本文 52 頁　【印刷】(株)イーフォー【発行】令和 7 年 11 月 17 日【発行部数】100 部

5．教育普及活動

(1)学芸員実習生の受入れ

4月～翌年1月に東京農業大学学術情報課程学芸員課程の博物館実習（4年次生）の学生を実習生として受け入れている。博物館の開館と閉館作業、所蔵資料の保全・管理、企画展示及びイベントの準備・運営・撤収作業、来館者への展示解説など、博物館の業務全般実習を行っている。

《令和5年度》

学部	学科	受入人数
農学部		1
	生物資源開発学科	1
応用生物科学部		3
	農芸化学科	1
	醸造科学科	2
生命科学部		6
	バイオサイエンス学科	1
	分子生命化学科	1
	分子微生物学科	4
地域環境科学部		4
	森林総合科学科	2
	生産環境工学科	1
	地域創成科学科	1
国際食料情報学部		5
	国際農業開発学科	3
	国際バイオビジネス学科	2
生物産業学部		3
	北方圏農学科	1
	海洋水産学科	2
受入実習生総計		22

《令和6年度》

学部	学科	受入人数
農学部		11
	農学科	1
	動物学科	3
	生物資源開発学科	5
	デザイン農学科	2
応用生物科学部		6
	農芸化学科	3
	醸造科学科	2
	食品安全健康学科	1
生命科学部		8
	バイオサイエンス学科	3
	分子生命化学科	4
	分子微生物学科	1
地域環境科学部		7
	生産環境工学科	3
	造園科学科	2
	地域創成科学科	2
国際食料情報学部		8
	国際農業開発学科	3
	食料環境経済学科	2
	国際バイオビジネス学科	2
	国際食農科学科	1
受入実習生総計		40

《令和７年度》

学部	学科	受入人数
農学部		20
	農学科	4
	動物科学科	8
	生物資源開発科	6
	デザイン農学科	2
応用生物科学部		2
	醸造科学科	2
生命科学部		7
	バイオサイエンス学科	4
	分子生命化学科	2
	分子微生物学科	1
地域環境科学部		11
	森林総合科学科	5
	生産環境工学科	1
	造園科学科	2
	地域創成科学科	3
国際食料情報学部		1
	国際農業開発学科	1
科目等履修生		1
受入実習生総計		42








(2)職場体験学習の受入れ

公私の別を問わず、近隣の小中学校からの要望に基づき、「職場体験」の受け入れを行った。

年度	受入団体
令和５年度	受入れ総数：１校 (1)東京都立小石川中等教育学校【期間】令和５年６月７日（水）～９日（金）　【人数】２年生 男子２名
令和６年度	受入れ総数：２校 (1)東京都立小石川中等教育学校【期間】令和６年６月11日（水）～13日（木）【人数】２年生 男子２名 (2)世田谷区立鳥山中学校　【期間】令和６年７月３日（水）～５日（金）　【人数】２年生 男子１名 女子１名
令和７年度	該当なし

(3)修学旅行・課外授業（中学生・高校生）等団体見学受入れ

（下表の人数表記のうち「＋〇名」は引率者数を示す）

《令和５年度》

種別	機関名	日程	人数
学内授業	東京農業大学学術情報課程学芸員コース	令和５年４月	73名
団体見学	西弦巻保育園	令和５年４月	23＋3名
学内授業	東京農業大学 国際食料情報学部 アグリビジネス学科１年生	令和５年４月	40名
団体見学	社会福祉法人ふきのとうの会 ふきのとうデイホーム	令和５年４月	18名
修学旅行	北海道小樽市立長橋中学校	令和５年４月	25＋2名
学内授業	東京農業大学 国際食料情報学部 国際食農科学科１年生	令和５年４月	125名
団体見学	東京農業大学 グリーンアカデミー本科生	令和５年４月	80名
学内授業	東京農業大学 国際食料情報学部 アグリビジネス学科１年生	令和５年５月	120名
団体見学	世田谷トラストまちづくり	令和５年５月	9名
団体見学	鳥取県農業委員会会長会	令和５年５月	8名
団体見学	馬事公苑ひかり保育園	令和５年５月	23＋3名
学内授業	東京農業大学学術情報課程学芸員コース	令和５年５月	40名
団体見学	鴎友学園女子中学高等学校	令和５年５月	15＋3名
修学旅行	名古屋市立平田中学校	令和５年５月	12名
団体見学	福島県立岩瀬農業高等学校	令和５年５月	18＋2名
団体見学	豊橋市立石巻中学校	令和５年５月	21＋2名
団体見学	世田谷１丁目ゆたか園	令和５年６月	14＋4名
修学旅行	豊橋市立本郷中学校	令和５年６月	28＋2名
団体見学	三田国際学園中学校	令和５年６月	10+2名
団体見学	神田女学園高等学校	令和５年６月	17+1名
学内授業	東京農業大学 地域創成科学科	令和５年６月	118名
団体見学	私立聖ウルスラ学院英智高等学校	令和５年６月	4+1名
団体見学	岡山県立津山高等学校	令和５年６月	40＋2名
団体見学	千葉県立流山高等学校	令和５年６月	19＋2名
団体見学	田園調布学園中等部高等部 森林インストラクター東京会	令和５年６月	21＋4名
団体見学	釜山農業技術センター	令和５年６月	26名
団体見学	東京農業大学稲花小学校	令和５年６月	36＋3名
団体見学	JA水戸女性部	令和５年７月	83名
学内授業	東京農業大学 地域創成科学科	令和５年７月	180名
団体見学	東京都立桜町高等学校	令和５年７月	20名
団体見学	JCST0706湖南訪日団	令和５年７月	6名
団体見学	JA道北なよろ青年部	令和５年７月	17名
団体見学	駿台学園高等学校	令和５年７月	20＋2名
団体見学	東京都立広尾高等学校	令和５年７月	3名
団体見学	帝京科学大学	令和５年７月	50＋1名
団体見学	ウィズダムアカデミー	令和５年７月	8名
団体見学	世田谷区立経堂図書館	令和５年７月	20名
団体見学	JIC甘粛農業大学	令和５年７月	15名
団体見学	サニーキッズインターナショナルアカデミー	令和５年８月	12＋4名
団体見学	白鷺会	令和５年８月	20名
団体見学	玉川総合支所 地域振興課	令和５年８月	22名
団体見学	埼玉県戸田市立新曽中学校 生物育成研究部	令和５年８月	30＋3名
団体見学	スイッチスクール	令和５年８月	35＋5名
団体見学	常総学院高等学校	令和５年８月	50＋2名
団体見学	財団法人資訊工業策進会 台日産業推進センター	令和５年８月	20名
団体見学	JAふじ伊豆青壮年部南支部	令和５年８月	23名
団体見学	広島県立賀茂高等学校	令和５年10月	18＋1名
団体見学	栃木県立鹿沼南高等学校	令和５年10月	37＋2名
団体見学	高崎市立高崎経済大学付属高等学校	令和５年10月	40＋2名
団体見学	韓国農食協会	令和５年10月	28名
団体見学	馬事公苑ひかり保育園	令和５年10月	16＋4名
団体見学	JAはだの組合員基礎講座	令和５年10月	15名
団体見学	山中湖村食生活改善推進員会	令和５年10月	30名
団体見学	馬事公苑ひかり保育園	令和５年11月	24＋3名
団体見学	國學院大學附属幼稚園	令和５年11月	31＋3名
団体見学	東京都立大島高等学校農林科	令和５年11月	7＋2名
団体見学	JA東神楽クリーンライス研究会	令和５年11月	7名
団体見学	東京農業大学第二高等学校	令和５年11月	50名
団体見学	桜丘中学校	令和５年11月	25＋8名

種別	機関名	日程	人数
団体見学	政農会	令和5年11月	30名
団体見学	日能研	令和5年11月	10＋12名
修学旅行	埼玉県立坂戸高等学校	令和5年11月	28＋1名
団体見学	社会福祉法人 海風会 いちばん星	令和5年11月	6名
団体見学	JA邑楽館林青年部 館林・明和支部	令和5年11月	17名
団体見学	世田谷プラットフォーム6大学	令和5年12月	10名
修学旅行	熊本県立八代農業高等学校	令和5年12月	50＋6名
団体見学	東京農業大学第一高等学校中等部 第一学年	令和5年12月	193＋8名
団体見学	東京農業大学第一高等学校中等部 第一学年	令和5年12月	193＋8名
団体見学	グローバル連携センター	令和5年12月	15名
団体見学	長崎県立 諫早農業高等学校	令和5年12月	40＋2名
団体見学	JA上伊那営農経済専門委員会視察研修	令和5年12月	15名
団体見学	駒沢健康クラブ	令和5年12月	48＋2名
団体見学	東京農業大学第三高等学校附属中学校	令和5年12月	54＋5名
団体見学	馬事公苑ひかり保育園	令和5年12月	16＋4名
団体見学	熊本県立玉名高等学校	令和6年1月	40＋1名
団体見学	ゆう桜ヶ丘コミュニティセンター	令和6年1月	15名
団体見学	JAつがる弘前ミニトマト部会	令和6年1月	26名
団体見学	馬事公苑ひかり保育園	令和6年1月	18＋4名
団体見学	サラダクラブ	令和6年1月	9名
団体見学	馬事公苑ひかり保育園	令和6年1月	26＋3名
団体見学	習志野市青少年相談員おもしろ体験	令和6年2月	40＋20名
団体見学	沖縄県立南部農林高等学校	令和6年2月	29＋2名
団体見学	Kubota Thailand Study Tour 2024	令和6年2月	33名
団体見学	滋賀県農政連湖南支部	令和6年2月	17名
団体見学	潮来アグリネットワーク	令和6年2月	12名
団体見学	SKT連絡協議会女性部会	令和6年2月	20名
団体見学	東京お散歩教室	令和6年2月	15名
団体見学	東京お散歩教室	令和6年2月	15名
団体見学	網走市漁協組合	令和6年2月	14名
団体見学	世田谷いちい保育園北ウイング	令和6年3月	24＋4名
団体見学	中国CACC東京フーデックス参加者	令和6年3月	11名
団体見学	カメリアキッズ経堂２号園	令和6年3月	16＋7名
団体見学	馬事公苑ひかり保育園	令和6年3月	23＋2名
団体見学	昭和第一高等学校	令和6年3月	16＋2名
団体見学	東京農業大学第一高等学校同窓会	令和6年3月	20名
団体見学	どうだん山の会	令和6年3月	20名
団体見学	世田谷いちい保育園北ウイング	令和6年3月	24＋4名

※団体見学の受け入れについては、一般の不特定多数の団体見学は引き続き受け入れず、
業者による企画や修学旅行など、安全対策が互いに可能な場合は、30名程度を目安に受け入れた。
ただし、新型コロナウィルス感染拡大の状況により、急遽取り止めるという条件付きとした。

《令和6年度》

種別	機関名	日程	人数
団体見学	清泉インターナショナル学園	令和6年4月	58名
団体見学	多摩区健康ウォーク協会	令和6年4月	90名
学内授業	食料環境経済学科新1年生	令和6年4月	200名
団体見学	学術情報課程 博物館概論　2年生	令和6年4月	70名
学内授業	稲花小学校5年	令和6年4月	75名
団体見学	恵泉女学園中学・高等学校	令和6年4月	42名
学内授業	アグリビジネス学科	令和6年4月	60名
学内授業	国際食農科学科	令和6年4月	125名
団体見学	科学技術学園高等学校	令和6年4月	31名
団体見学	読売文化センター	令和6年4月	18名
学内授業	アグリビジネス学科	令和6年5月	60名
団体見学	桜すくすく保育園　てくてく組	令和6年5月	15名
団体見学	馬事公苑ひかり保育園	令和6年5月	20名
学内授業	アグリビジネス学科	令和6年5月	45名
団体見学	宮城県多賀城市立第二中学校	令和6年5月	4名
団体見学	神奈川県歩け歩け協会	令和6年5月	80名
団体見学	長泉町立長泉中学校	令和6年5月	33＋2名
団体見学	上川地方農業委員会連合会	令和6年5月	25名

種別	機関名	日程	人数
団体見学	大田区立教育センターつばさ蒲田教室	令和 6 年 5 月	15＋4 名
団体見学	ネブラスカ州立大学	令和 6 年 5 月	20 名
団体見学	聖ウルスラ学院英智高校	令和 6 年 5 月	3＋1 名
団体見学	新北市樹林区農会	令和 6 年 5 月	22 名
団体見学	馬事公苑ひかり保育園	令和 6 年 6 月	21＋4 名
団体見学	佼成学園女子高校	令和 6 年 6 月	21＋1 名
団体見学	馬事公苑ひかり保育園	令和 6 年 6 月	21＋4 名
学内授業	稲花小学校 3 年	令和 6 年 6 月	72 名＋3 名
団体見学	沼津市立沼津高等学校	令和 6 年 6 月	38＋2 名
団体見学	中野区消費者団体連絡会	令和 6 年 6 月	8 名
団体見学	みんなで楽しく歩こう会	令和 6 年 6 月	18 名
団体見学	熊谷高校同窓会さいたま支部、ウォーキング同好会	令和 6 年 6 月	22 名
団体見学	世田谷区立若林小学校	令和 6 年 6 月	84＋5 名
団体見学	文科省新入職員	令和 6 年 6 月	70 名
団体見学	千葉県立茂原樟陽高等学校	令和 6 年 6 月	39＋3 名
団体見学	鳥取県立農業大学校	令和 6 年 6 月	20 名
団体見学	國學院大學付属幼稚園	令和 6 年 6 月	29＋10 名
団体見学	自由が丘学園高等学校	令和 6 年 7 月	15＋1 名
団体見学	台湾中興大学（協定校）	令和 6 年 7 月	20 名
団体見学	JA さがみ御所見支店	令和 6 年 7 月	20 名
団体見学	橘学苑高等学校	令和 6 年 7 月	20＋1 名
団体見学	タイガーモブ株式会社	令和 6 年 7 月	29 名
団体見学	さくらインターナショナルスクール	令和 6 年 7 月	13＋3 名
学内授業	稲花小学校 1 年	令和 6 年 7 月	72＋3 名
団体見学	中国北京海淀外国語学校	令和 6 年 7 月	84 名
団体見学	センターポール　アダプティブキッズ	令和 6 年 7 月	16 名
団体見学	埼玉県戸田市喜沢中学校科学部	令和 6 年 8 月	15＋2 名
団体見学	筑波大学 土壌環境化学研究室	令和 6 年 8 月	17 名
団体見学	ミラルバキッズ	令和 6 年 9 月	15＋4 名
団体見学	栃木県立鹿沼高校	令和 6 年 10 月	40＋2 名
団体見学	富士緒井路土地改良区	令和 6 年 10 月	17 名
団体見学	愛媛県立大洲農業高等学校	令和 6 年 10 月	14＋2 名
団体見学	いいほいくえん用賀	令和 6 年 10 月	12＋4 名
団体見学	世田谷いちい保育園北ウィング	令和 6 年 10 月	24＋6 名
団体見学	留萌地区農協幹事協議会	令和 6 年 10 月	8 名
団体見学	富山県小矢部園芸高校	令和 6 年 10 月	17＋3 名
団体見学	日中協会安徽省組織部日本研修団	令和 6 年 10 月	23 名
団体見学	沖縄県立中部農林高等学校	令和 6 年 11 月	34＋2 名
団体見学	松沢さくら会	令和 6 年 11 月	20 名
団体見学	緑営会	令和 6 年 11 月	20 名
学内授業	学術情報課程 博物館実習	令和 6 年 11 月	116 名
団体見学	桜すくすく保育園	令和 6 年 11 月	12＋3 名
団体見学	杉並区障碍者生活支援課地域生活支援係ふれあい広場	令和 6 年 11 月	9 名
団体見学	日中協会人材交流事業部	令和 6 年 11 月	15 名
団体見学	桜丘児童館　親子サークル	令和 6 年 11 月	28 名
団体見学	桐光学園中学校生物部	令和 6 年 11 月	15＋3 名
団体見学	市川市立大野小学校 5 年生	令和 6 年 11 月	96＋4 名
団体見学	茨城県立鉾田第二高校	令和 6 年 11 月	24＋2 名
団体見学	秋田県大仙市農林建設課	令和 6 年 11 月	11 名
団体見学	世田谷区松丘町会、世田谷区青少年委員会 OB 会	令和 6 年 11 月	24 名
団体見学	埼玉県立坂戸高校	令和 6 年 11 月	35＋2 名
団体見学	長崎県農業者年金受給者協議会	令和 6 年 11 月	10 名
団体見学	静岡県立天竜高校	令和 6 年 11 月	38＋2 名
団体見学	馬事公苑ひかり保育園	令和 6 年 12 月	15＋6 名
団体見学	JA しまね出雲女性部・総研研究部会	令和 6 年 12 月	14 名
団体見学	NPO 法人令和塾学習会	令和 6 年 12 月	21 名
団体見学	熊本県立鹿本農業高等学校	令和 6 年 12 月	58＋5 名
団体見学	熊本県立熊本農業高等学校	令和 6 年 12 月	40＋2 名
団体見学	熊本県立天草高等学校	令和 6 年 12 月	31＋2 名
団体見学	福島県河沼郡柳津町農業委員会	令和 6 年 12 月	40＋2 名
学内授業	東京農業大学第三中学校	令和 6 年 12 月	61＋5 名
団体見学	世田谷区玉川総合支所地域振興課	令和 6 年 12 月	21 名

種別	機関名	日程	人数
団体見学	日本ペットアニマル専門学校	令和 6 年 12 月	71 名
団体見学	沖縄県立八重山農林高等学校	令和 6 年 12 月	73＋4 名
団体見学	沖縄県立南部農林高等学校	令和 7 年 1 月	30＋3 名
団体見学	シティトラベル台湾	令和 7 年 1 月	15 名
団体見学	渋川地区農業委員会協議会	令和 7 年 1 月	19 名
団体見学	世田谷区立山野小学校 3 年生	令和 7 年 1 月	183＋9 名
団体見学	上祖師谷中学校	令和 7 年 1 月	21 名
団体見学	JA セレサ川崎組合員カレッジ	令和 7 年 2 月	20 名
団体見学	もみの木保育園希望丘	令和 7 年 2 月	15＋5 名
団体見学	アグリライフなりた	令和 7 年 2 月	28 名
団体見学	タイ 農業及び農業協同組合銀行	令和 7 年 2 月	14 名
団体見学	田園調布学園中学・高校講座	令和 7 年 2 月	25 名
団体見学	JA 上川地区青年部協議会	令和 7 年 2 月	25 名
団体見学	馬事公苑ひかり保育園	令和 7 年 2 月	26＋4 名
団体見学	もみの木保育園 太子堂	令和 7 年 3 月	22＋4 名
団体見学	昭和第一高等学校	令和 7 年 3 月	10＋2 名
団体見学	明治学院同窓会	令和 7 年 3 月	25 名
団体見学	カメリアキッズ経堂保育園 2 号館	令和 7 年 3 月	17＋10 名
団体見学	馬事公苑ひかり保育園	令和 7 年 3 月	17＋4 名

《令和 7 年度》

種別	機関名	日程	人数
学内授業	食料環境経済学科 新入生オリエンテーション	令和 7 年 4 月	200+9 名
学内授業	グリーンアカデミー	令和 7 年 4 月	80+4 名
団体見学	神奈川県歩け歩け協会	令和 7 年 5 月	80 名
学内授業	アグリビジネス学科 新入生オリエンテーション	令和 7 年 5 月	168+7 名
学内授業	国際食農科学科 新入生オリエンテーション	令和 7 年 5 月	125 名
学内授業	最新園芸技術視察団（国際食農科学科）	令和 7 年 5 月	21 名
団体見学	東京農業大学稲花小学校	令和 7 年 5 月	72+8 名
団体見学	仙台市立上杉山中学校	令和 7 年 5 月	16+1 名
団体見学	カセサート大学（グローバル連携センター）	令和 7 年 5 月	20+20 名
団体見学	飯田高校同窓会	令和 7 年 5 月	21 名
団体見学	東京都上石神井高等学校生物部	令和 7 年 6 月	20+1 名
団体見学	馬事公苑ひかり保育園	令和 7 年 6 月	25+3 名
団体見学	馬事公苑ひかり保育園	令和 7 年 6 月	26+3 名
団体見学	社会人講座：アートラボ	令和 7 年 6 月	10 名
団体見学	世田谷区立若林小学校	令和 7 年 6 月	100+6 名
団体見学	NTT 技術史料館	令和 7 年 6 月	15 名
団体見学	木更津市立中郷公民館	令和 7 年 6 月	22 名
団体見学	市川市立大野小学校	令和 7 年 6 月	88+5 名
団体見学	気楽に歩こう会	令和 7 年 6 月	36 名
団体見学	東京農業大学稲花小学校	令和 7 年 6 月	72+8 名
団体見学	アオバジャパン・バイリンガルプリスクール　用賀キャンパス	令和 7 年 6 月	45+7 名
団体見学	馬事公苑ひかり保育園	令和 7 年 6 月	18+4 名
団体見学	東京まいまいコラボツアー	令和 7 年 6 月	20 名
団体見学	文部科学省研修生	令和 7 年 7 月	80 名
学内授業	国際体験学習プログラム（グローバル連携センター）	令和 7 年 7 月	29 名
団体見学	モンテッソーリスクールオブ東京	令和 7 年 7 月	19+2 名
団体見学	(長野県)箕輪町農業委員会	令和 7 年 7 月	24 名
団体見学	上河内地区認定農業者協議会	令和 7 年 7 月	12 名
団体見学	栃木県立栃木農業高等学校	令和 7 年 7 月	20 名
団体見学	放課後等デイサービス ウィング用賀	令和 7 年 7 月	15 名
団体見学	キッズ JUMP!	令和 7 年 8 月	15+5 名
団体見学	芝浦工業大学附属中学高等学校	令和 7 年 8 月	13+1 名
団体見学	栃木県立鹿沼南高等学校 PTA	令和 7 年 8 月	20 名
団体見学	竹の塚交通少年団	令和 7 年 8 月	25+20 名
団体見学	世田谷区玉川総合支所地域振興課	令和 7 年 8 月	28+2 名
団体見学	聖徳学園中学高等学校	令和 7 年 8 月	18+2 名
団体見学	JA さいたま大学	令和 7 年 9 月	21 名
団体見学	山口県立田布施農工高等学校	令和 7 年 9 月	30+1 名
団体見学	ソルシアス上用賀（デイサービス）	令和 7 年 9 月	15 名
団体見学	おいらく山岳会	令和 7 年 9 月	28 名

種別	機関名	日程	人数
団体見学	群馬県立勢多農林高等学校	令和 7 年 9 月	40+2 名
団体見学	神奈川県立新羽高等学校	令和 7 年 10 月	20+1 名
団体見学	世田谷学園中学校 1 年	令和 7 年 10 月	42+2 名
団体見学	世田谷学園中学校 2 年	令和 7 年 10 月	39+2 名
団体見学	CHOBRA251005P	令和 7 年 10 月	13 名
団体見学	横芝光町農業振興会 女性部会	令和 7 年 10 月	8 名
団体見学	Chilgok 4H Association・韓国	令和 7 年 10 月	5 名
団体見学	JA うつのみや　なの花会	令和 7 年 10 月	18 名
団体見学	心遊会　四季の会	令和 7 年 10 月	20 名
団体見学	ミラルドゥレ学校（和光小学校）	令和 7 年 10 月	25+6 名
団体見学	長野県岩村田高等学校	令和 7 年 10 月	14 名
団体見学	江蘇省蔬菜協会	令和 7 年 10 月	13 名
団体見学	千歳なないろ保育園	令和 7 年 10 月	12+4 名
団体見学	世田谷区立城山小学校	令和 7 年 10 月	151+11 名
団体見学	世田谷区立用賀小学校	令和 7 年 10 月	30+4 名
団体見学	茨城県牛久高等学校	令和 7 年 11 月	40+2 名
団体見学	沖縄県立中部農林高校	令和 7 年 11 月	37+3 名
団体見学	世田谷区立用賀保育園	令和 7 年 11 月	32+5 名
団体見学	グローバルキッズ愛住町園	令和 7 年 11 月	21+5 名
団体見学	静岡県立磐田西高等学校	令和 7 年 11 月	20+1 名
団体見学	神奈川県 相洋高等学校	令和 7 年 11 月	30 名
団体見学	千葉県市川市立若宮小学校	令和 7 年 11 月	113+6 名
団体見学	SEARCA 会議参加者	令和 7 年 11 月	35 名
団体見学	グローバル連携センター	令和 7 年 11 月	35 名
団体見学	川崎市総合教育センター	令和 7 年 11 月	30 名
団体見学	HOPPA 世田谷経堂	令和 7 年 11 月	14+4 名
団体見学	茨城県立鉾田第二高等学校	令和 7 年 11 月	30+2 名
団体見学	東京家政大学付属女子中学校	令和 7 年 11 月	29+1 名
団体見学	SHOWA1125	令和 7 年 11 月	15 名
団体見学	千葉県木更津市立八幡台公民館	令和 7 年 11 月	30 名
団体見学	稲垣薬局デイサービス経堂	令和 7 年 11 月	16 名
団体見学	沼津信用金庫経営者クラブ	令和 7 年 11 月	26 名
団体見学	埼玉県立坂戸高等学校	令和 7 年 11 月	30+1 名
団体見学	宮崎県立門川高等学校	令和 7 年 12 月	24 名
団体見学	熊本県立天草拓心高等学校	令和 7 年 12 月	37+3 名
団体見学	東京都立瑞穂農芸高等学校	令和 7 年 12 月	35+2 名
団体見学	東京農業大学第一高中等部（前半）	令和 7 年 12 月	144 名
団体見学	東京農業大学第一高中等部（後半）	令和 7 年 12 月	144 名
団体見学	オープンカレッジ＆東京まいまいコラボツアー　AM＋PM2 回	令和 7 年 12 月	20+20 名
団体見学	熊本県立鹿本農業高等学校	令和 7 年 12 月	41+7 名
団体見学	世田谷区千歳小学校第 3 学年	令和 7 年 12 月	149+8 名
団体見学	沖縄県立八重山農林高等学校	令和 7 年 12 月	63+2 名
団体見学	國學院大学附属幼稚園	令和 7 年 12 月	24+5 名
団体見学	日本体育大学荏原高等学校	令和 7 年 12 月	20+1 名
団体見学	駿台学園中学・高等学校	令和 8 年 1 月	13+2 名
団体見学	JA いるま野入曽・堀兼資産管理研究会	令和 8 年 1 月	40 名
団体見学	沖縄県立南部農林高校	令和 8 年 1 月	28+2 名
団体見学	河北郡市農業振興協議会かほく市支部	令和 8 年 1 月	15 名
団体見学	熊本県立菊地農業高校	令和 8 年 1 月	34+2 名
団体見学	沖縄県立南部農林高校生物資源科	令和 8 年 1 月	34+2 名
団体見学	宮崎県立宮崎農業高校	令和 8 年 1 月	38+2 名
団体見学	筑波大学附属駒場中学校	令和 8 年 1 月	24+1 名
団体見学	川崎市総合教育センター	令和 8 年 1 月	25+5 名
団体見学	高山 4H クラブ	令和 8 年 1 月	18 名
団体見学	和光小学校 5 年 2 組	令和 8 年 1 月	36+1 名
団体見学	世田谷区立桜保育園	令和 8 年 1 月	15+5 名
団体見学	世田谷区立玉堤小学校	令和 8 年 1 月	93+6 名
団体見学	馬事公苑ひかり保育園	令和 8 年 1 月	25+3 名
団体見学	桜すくすく保育園	令和 8 年 1 月	16+2 名
団体見学	フロンティアキッズ上町	令和 8 年 1 月	14+3 名
団体見学	世田谷区立桜保育園	令和 8 年 2 月	20+6 名
団体見学	JA 横浜蔬菜部大正支部	令和 8 年 2 月	25 名

種別	機関名	日程	人数
団体見学	世田谷区立中里小学校	令和 8 年 2 月	54+6 名
団体見学	馬事公苑ひかり保育園	令和 8 年 2 月	22+3 名
団体見学	世田谷区立尾山台小学校　けやき学級	令和 8 年 2 月	29+14 名
団体見学	那珂市統計調査員会	令和 8 年 2 月	23 名
団体見学	馬事公苑ひかり保育園	令和 8 年 2 月	28+2 名
団体見学	一般社団法人 UNION MERRILY	令和 8 年 2 月	20 名
団体見学	目黒区立下目黒福祉工房	令和 8 年 2 月	14 名
団体見学	東京農業大学稲花小学校	令和 8 年 2 月	72+3 名
団体見学	山野児童館　ぽんぽこサークル	令和 8 年 3 月	18+22 名
団体見学	國學院大学附属幼稚園	令和 8 年 3 月	24+5 名
団体見学	世田谷区立八幡山保育園	令和 8 年 3 月	22+4 名
団体見学	楽々ウォーキングの会	令和 8 年 3 月	20 名
団体見学	昭和第一高等学校	令和 8 年 3 月	18+2 名
団体見学	カメリアキッズ経堂２号園	令和 8 年 3 月	16+11 名
団体見学	Oakwood Tokyo International School	令和 8 年 3 月	15+5 名
団体見学	世田谷いちい保育園北ウイング	令和 8 年 3 月	23+3 名
団体見学	法仕の会	令和 8 年 3 月	14 名
団体見学	株式会社コノユメ	令和 8 年 3 月	40+20 名
団体見学	世田谷区立桜保育園	令和 8 年 3 月	40+6 名
団体見学	よみうりカルチャー「江戸っ子あるき」	令和 8 年 3 月	17 名
団体見学	南浦和公民館　道しるべ	令和 8 年 3 月	30 名
団体見学	よみうりカルチャー「江戸っ子あるき」	令和 8 年 3 月	16 名
団体見学	放課後等デイサービス ウイング調布	令和 8 年 3 月	15 名

6．所蔵資料及び所蔵データ等の貸出及びレファレンスサービス一覧

《令和 5 年度》

種　別	依頼者（機関）	日程	点数等
研究利用	（公財）　山階鳥類研究所	令和 5 年 5 月	鶏の剥製（蓑曳）調査
研究利用	農芸化学科	令和 5 年 5 月	農芸化学科展 展示資料目録他
展示利用	農林水産省 消費・安全局消費者行政・食育課、畜産局牛乳乳製品課	令和 5 年 5 月	荒川 弘〈百姓貴族〉×TOKYO NODAI×農林水産省」展示開催 展示パネル 33 枚他
教育利用	駿台文庫株式会社	令和 5 年 6 月	「備中くわ」 1 点画像貸出
展示利用	生物産業学部	令和 5 年 7 月	「荒川 弘〈百姓貴族〉× TOKYO NODAI2022」展示パネル 22 枚他
寄贈	（一財）進化生物学研究所	令和 5 年 6 月	龍神地鶏の剥製 2 体
寄贈	隈研吾設計事務所	令和 5 年 7 月	隈研吾氏関連書籍 10 冊
教育普及	テレビ朝日「ポツンと一軒家」	令和 5 年 9 月	古農具（ソリカワジ）文化遺産データベース公開資料 照会
展示利用	農林水産省 大臣官房政策課 食料安全保障室	令和 5 年 9 月	「荒川 弘〈百姓貴族〉×TOKYO NODAI×農林水産省」展示開催 展示パネル 70 枚他
研究利用	製茶業 個人研究者	令和 5 年 10 月	古農機具 焙炉（ホイロ）調査
研究利用	飯田市農業委員会	令和 5 年 10 月	田中芳男展 展示案内
教育普及	㈱ムサシ	令和 6 年 11 月	古農機具フィルム 8 点
教育普及	㈱堀内カラー	令和 6 年 12 月	古農機具フィルム バインダー3 冊
展示利用	農林水産省 食料安全保障室	令和 6 年 1 月	荒川 弘〈百姓貴族〉×TOKYO NODAI×農林水産省」展示開催 展示パネル 46 枚
教育普及	東京農業大学稲花小学校	令和 6 年 1 月	糸車 1 台・糸枠 1 台
展示利用	能登印刷株式会社	令和 6 年 2 月	「酒興教訓草」「狸徳利」 ２点画像貸出
展示利用	株式会社プレナス 米食文化研究所「OBENTO Gallery」	令和 6 年 2 月	「酒造り絵図」画像貸出

《令和 6 年度》

種　別	依頼者（機関）	日程	点数等
教育普及	テレビ朝日「東京サイト」	令和 6 年 5 月	「機嫌のよくなる酒癖」「三人上戸酒癖」画像貸出
教育普及	株式会社小学館「アウトドア雑誌『ビーパル』WEB 版」	令和 6 年 12 月	リュウキュウイノシシ骨格標本２点画像貸出
展示利用	兵庫県白鹿記念酒造博物館 伝統的酒造りの近現代	令和 6 年 12 月 4 日～ 令和 7 年 3 月 3 日	蔵元関係資料 2 点 蔵元コーナー展示画像と蔵元配置図
展示利用	埼玉県立 川の博物館 春季企画展「麦の国さいたま」	令和 7 年 1 月 21 日～ 令和 7 年 5 月 23 日	標本資料 2 点 カラスムギ、ライムギ

《令和 7 年度》

種　別	依頼者（機関）	日程	点数等
研究利用	東京農業大学 地域環境科学部 森林総合科学科 木材工学研究室	令和 7 年 8 月 1 日～ 令和 8 年 3 月 31 日	古農具 15 点（ミツゴ、サキテンガ、先手鍬、金鍬、板鍬、鍬、テンガ、手鍬、株切）
展示利用	豊橋市二川宿本陣資料館 企画展「馬と人のものがたり」	令和 7 年 10 月 11 日～ 令和 7 年 11 月 16 日	古農具 5 点（荷鞍、鞍置台、婚礼鞍 2 点、クツゴ）、 学術情報課程所蔵資料 6 点

7．施設の貸出し

《令和 5 年度》

月	日	曜日	時　間	利用団体名等	利用施設	利用目的
4	8	土	10:00～16:30	株式会社大嶋農場	2 階セミナー室	お米の啓蒙普及活動
4	11	火	13:00～15:00	NPO 法人食材の寺子屋	2 階セミナー室	セミナー開催
5	22	土	10:00～16:30	富士宮市フードバレー推進協議会	1 階展示スペース	富士宮市ﾌｰﾄﾞﾊﾞﾚｰｼｮｯﾌﾟ開催
6	10	土	10:00～16:30	株式会社大嶋農場	2 階セミナー室	お米の啓蒙普及活動
6	24	土	10:00～16:30	富士宮市フードバレー推進協議会	1 階展示スペース	富士宮市ﾌｰﾄﾞﾊﾞﾚｰｼｮｯﾌﾟ開催
7	8	土	10:00～16:30	株式会社大嶋農場	2 階セミナー室	お米の啓蒙普及活動
7	20	木	13:00～17:00	慶應義塾大学出版会株式会社	2 階セミナー室	FutureLean の打合せ
7	28	金	14:00～15:30	世田谷区立経堂図書館	2 階セミナー室	セミナー開催
7	29	土	10:00～16:30	株式会社農大サポート	2 階セミナー室	オープンカレッジ講座
8	5	土	10:00～16:30	株式会社大嶋農場	1 階展示スペース	お米の啓蒙普及活動
8	22	火	10:00～16:30	株式会社農大サポート	2 階セミナー室	オープンカレッジ講座
8	24	木	9:30～12:00	第 60 回上町地区子ども大会	1 階展示コーナー	生き物展示・講習
8	24	木	9:30～15:00	アルファー食品株式会社	1 階展示コーナー	アルファ化米商品の展示 PR
8	25	金	13:30～15:00	NPO 法人食材の寺子屋	2 階セミナー室	セミナー開催
8	26	土	10:00～16:30	富士宮市フードバレー推進協議会	1 階展示スペース	富士宮市ﾌｰﾄﾞﾊﾞﾚｰｼｮｯﾌﾟ開催
9	2	土	11:00～16:00	合同会社 iroiro	1 階展示コーナー	後援による認知拡大
10	13	金	13:00～15:00	NPO 法人食材の寺子屋	2 階セミナー室	セミナー開催
11	4 5	土 日	9:30～13:00	株式会社大嶋農場	2 階セミナー室	お米の啓蒙普及活動
11	11	土	10:30～16:30	合同会社 iroiro	1 階展示コーナー	講演会
11	25	土	10:00～16:30	富士宮市フードバレー推進協議会	1 階展示スペース	富士宮市ﾌｰﾄﾞﾊﾞﾚｰｼｮｯﾌﾟ開催
12	5	火	12:00～16:00	NPO 法人食材の寺子屋	2 階セミナー室	セミナー開催
12	23	土	10:00～16:30	富士宮市フードバレー推進協議会	1 階展示スペース	富士宮市ﾌｰﾄﾞﾊﾞﾚｰｼｮｯﾌﾟ開催
1	13	土	13:00～16:30	株式会社農大サポート	2 階セミナー室	オープンカレッジ講座
1	27	土	10:00～16:30	富士宮市フードバレー推進協議会	1 階展示スペース	富士宮市ﾌｰﾄﾞﾊﾞﾚｰｼｮｯﾌﾟ開催
1	27	土	11:00～16:00	だいじょうぶ社（合同会社 iroiro）	1 階展示スペース	シルクの認知向上のための講演
2	17	土	10：00～6:30	富士宮市フードバレー推進協議会	1 階展示スペース	富士宮市ﾌｰﾄﾞﾊﾞﾚｰｼｮｯﾌﾟ開催
3	23	土	11:00～16:00	だいじょうぶ社（合同会社 iroiro）	1 階展示スペース	シルクの認知向上のための講演
3	23	土	10：00～6:30	富士宮市フードバレー推進協議会	1 階展示スペース	富士宮市ﾌｰﾄﾞﾊﾞﾚｰｼｮｯﾌﾟ開催

《令和 6 年度》

月	日	曜日	時　間	利用団体名等	利用施設	利用目的
4	20	土	10:00～16:30	富士宮市フードバレー推進協議会	1 階展示スペース	富士宮市ﾌｰﾄﾞﾊﾞﾚｰｼｮｯﾌﾟ開催
5	18	土	10:00～16:30	富士宮市フードバレー推進協議会	1 階展示スペース	富士宮市ﾌｰﾄﾞﾊﾞﾚｰｼｮｯﾌﾟ開催
5	18	土	10:00～16:30	合同会社 iroiro	1 階展示スペース	物販
6	22	土	10:00～16:30	富士宮市フードバレー推進協議会	1 階展示スペース	富士宮市ﾌｰﾄﾞﾊﾞﾚｰｼｮｯﾌﾟ開催
6	22	土	10:00～16:30 1)11:00～ 2)14:30～	合同会社 iroiro	1 階展示スペース 1 階映像コーナー	1)2)ともシルク関連ワークショップ
7	13	土	10:00～16:30	富士宮市フードバレー推進協議会	1 階展示スペース	富士宮市ﾌｰﾄﾞﾊﾞﾚｰｼｮｯﾌﾟ開催
7	13	土	10:00～16:30	合同会社 iroiro	1 階展示スペース	物販
7	24	水	10:00～16:30	株式会社農大サポート	2 階セミナー室	オープンカレッジ講座
8	2	金	9:30～16:30	せたがや区民まつり	1 階展示スペース	ふるさとＰＲコーナー
8	3	土	10:00～16:30	富士宮市フードバレー推進協議会	1 階展示スペース	富士宮市ﾌｰﾄﾞﾊﾞﾚｰｼｮｯﾌﾟ開催
8	3	土	10:00～16:30	合同会社 iroiro	1 階展示スペース	物販
8	3	土	10:00～16:30	せたがや区民まつり	1 階展示スペース	ふるさとＰＲコーナー
8	4	日	10:00～16:30	富士宮市フードバレー推進協議会	1 階展示スペース	富士宮市ﾌｰﾄﾞﾊﾞﾚｰｼｮｯﾌﾟ開催
8	4	日	10:00～16:30	合同会社 iroiro	1 階展示スペース	物販
8	4	日	10:00～16:30	せたがや区民まつり	1 階展示スペース	ふるさとＰＲコーナー
9	14	土	10:00～16:30	富士宮市フードバレー推進協議会	1 階展示スペース	富士宮市ﾌｰﾄﾞﾊﾞﾚｰｼｮｯﾌﾟ開催
9	14	土	10:00～16:30	合同会社 iroiro	1 階展示スペース	物販
10	12	土	10:00～16:30	富士宮市フードバレー推進協議会	1 階展示スペース	富士宮市ﾌｰﾄﾞﾊﾞﾚｰｼｮｯﾌﾟ開催
10	12	土	10:00～16:30	合同会社 iroiro	1 階展示スペース	物販
11	1	金	9:30～16:30	アルファー食品株式会社	1 階展示スペース	物販
11	1	金	9:30～16:30	株式会社新書館	1 階展示スペース	サンプル配付
11	1 2	金 土	9:30～16:30	木祖村商工会	1 階展示スペース	物販
11	1 2 3	金 土 日	9:30～16:30	株式会社大嶋農場	1 階展示スペース 2 階セミナー室	物販と米袋を使ったエコバック作り
11	2	土	9:30～16:30	かわせい堂	1 階展示スペース	物販
11	2 3	土 日	9:30～16:30	富士宮市フードバレー推進協議会	1 階展示スペース	富士宮市ﾌｰﾄﾞﾊﾞﾚｰｼｮｯﾌﾟ開催
11	1 2 3	金 土 日	9:30～16:30	合同会社 iroiro	1 階展示スペース 2 階セミナー室	物販とシルク講習会
11	1 2 3	金 土 日	9:30～16:30	フードディスカバリー株式会社	1 階展示スペース	物販
11	1 2 3	金 土 日	9:30～16:30	ソントンホールディングス株式会社	1 階展示スペース	ジャム類配付
11	30	土	10:00～16:30	株式会社農大サポート	2 階セミナー室	オープンカレッジ講座
12	5 6	木 金	15:30～16:00	公益社団法人高分子学会	2 階セミナー室	ポスター発表会場
12	7	土	9:30～16:30	富士宮市フードバレー推進協議会	1 階展示スペース	富士宮市ﾌｰﾄﾞﾊﾞﾚｰｼｮｯﾌﾟ開催
12	7	土	9:30～16:30	合同会社 iroiro	1 階展示スペース	物販
12	14	土	14:00～16:15	一般財団法人進化生物学研究所	2 階セミナー室	研究所見学ツアーの前説明
12	21	土	13:30～16:30	株式会社農大サポート	2 階セミナー室	オープンカレッジ講座
1	18	土	13:00～16:30	株式会社農大サポート	2 階セミナー室	オープンカレッジ講座
1	18	土	10:00～16:30	富士宮市フードバレー推進協議会	1 階展示スペース	富士宮市ﾌｰﾄﾞﾊﾞﾚｰｼｮｯﾌﾟ開催

月	日	曜日	時　間	利用団体名等	利用施設	利用目的
1	25	土	13:30～16:30	株式会社農大サポート	2 階セミナー室	オープンカレッジ講座
2	8	土	9:30～16:30	富士宮市フードバレー推進協議会	1 階展示スペース	富士宮市ﾌｰﾄﾞﾊﾞﾚｰｼｮｯﾌﾟ開催
2	8	土	9:30～16:30	合同会社 iroiro	1 階展示スペース	物販
2	8	土	14:00～15:30	世田谷区立経堂図書館	2 階セミナー室	セミナー開催
2	15	土	9:30～12:00	田園調布学園中等部高等部 一般財団法人進化生物学研究所	2 階セミナー室	熱帯雨林の生態学習
2	22	土	13:30～16:30	株式会社農大サポート	2 階セミナー室	オープンカレッジ講座
3	22	土	9:30～16:30	富士宮市フードバレー推進協議会	1 階展示スペース	富士宮市ﾌｰﾄﾞﾊﾞﾚｰｼｮｯﾌﾟ開催
3	22	土	9:30～16:30	合同会社 iroiro	1 階展示スペース	物販
3	24	月	7:30～14:30	株式会社ライス	1 階展示スペース 2 階セミナー室	テレビ東京「ソロ活女子のすすめ」のロケのため

《令和 7 年度》

月	日	曜日	時　間	利用団体名等	利用施設	利用目的
4	26	土	10:00～16:30	合同会社 iroiro	1 階ホール	物販
5	10	土	10:00～16:30	合同会社 iroiro	1 階ホール	物販
5	24	土	10:00～16:30	富士宮市フードバレー推進協議会	1 階ホール	富士宮市ﾌｰﾄﾞﾊﾞﾚｰｼｮｯﾌﾟ開催
5	31	土	10:00～16:30	合同会社 iroiro	1 階ホール	物販
6	3	火	9:30～16:30	東京農業大学農友会山岳部創部 100 周年記念事業実行委員会	2 階セミナー室	博物館内展示準備作業
6	14	土	9:00～12:00	世田谷区経済産業部都市農業課	1 階荷捌室内シンク	第 71 回世田谷区夏季農産物品評会の試食イベントの材料下処理の場所として
6	18	水	9:30～16:30	東京農業大学農友会山岳部創部 100 周年記念事業実行委員会	2 階セミナー室	博物館内展示撤収作業
6	28	土	10:00～16:30	合同会社 iroiro	1 階ホール	物販
6	28	土	10:00～16:30	富士宮市フードバレー推進協議会	1 階ホール	富士宮市ﾌｰﾄﾞﾊﾞﾚｰｼｮｯﾌﾟ開催
7	19	土	9:30～16:30	株式会社農大サポート	2 階セミナー室	オープンカレッジ講座
8	2	土	10:00～16:30	合同会社 iroiro	1 階ホール	物販
8	2	土	10:00～16:30	富士宮市フードバレー推進協議会	1 階ホール	富士宮市ﾌｰﾄﾞﾊﾞﾚｰｼｮｯﾌﾟ開催
8	3	日	10:00～16:30	富士宮市フードバレー推進協議会	1 階ホール	富士宮市ﾌｰﾄﾞﾊﾞﾚｰｼｮｯﾌﾟ開催
8	22	金	9:30～16:30	株式会社農大サポート	2 階セミナー室	オープンカレッジ講座
9	25	木	13:30～16:30	黒沢弥悦、天野卓、友田清彦	2 階セミナー室	横井時敬研究者のレファレンス対応
9	27	土	10:00～16:30	富士宮市フードバレー推進協議会	1 階ホール	富士宮市ﾌｰﾄﾞﾊﾞﾚｰｼｮｯﾌﾟ開催
9	27	土	10:00～16:30	合同会社 iroiro	1 階ホール	物販
10	25	土	13:00～16:00	株式会社農大サポート	2 階セミナー室	オープンカレッジ講座
10	25	土	10:00～16:30	合同会社 iroiro	1 階ホール	物販
11	15	土	13:30～16:30	株式会社農大サポート	2 階セミナー室	オープンカレッジ講座
11	29	土	10:00～16:30	合同会社 iroiro	1 階ホール	物販
11	29	土	10:00～16:30	富士宮市フードバレー推進協議会	1 階ホール	富士宮市ﾌｰﾄﾞﾊﾞﾚｰｼｮｯﾌﾟ開催
12	20	土	13:30～16:30	株式会社農大サポート	2 階セミナー室	オープンカレッジ講座
12	20	土	10:00～16:30	合同会社 iroiro	1 階ホール	物販
1	10	土	13:30～16:30	株式会社農大サポート	2 階セミナー室	オープンカレッジ講座
1	17	土	13:30～16:30	株式会社農大サポート	2 階セミナー室	オープンカレッジ講座
1	31	土	10:00～16:30	富士宮市フードバレー推進協議会	1 階ホール	富士宮市ﾌｰﾄﾞﾊﾞﾚｰｼｮｯﾌﾟ開催
1	31	土	10:00～16:30	総合研究所研究会きのこ研究部会	2 階セミナー室	きのこ加工食品に関するワークショップ
2	14	土	9:30～11:30	田園調布学園中等部高等部	2 階セミナー室	マダガスカルの自然（(一財）進化生物学研究所による講座）
2	14	土	13:30～16:30	株式会社農大サポート	2 階セミナー室	オープンカレッジ講座
2	21	土	10:00～16:30	合同会社 iroiro	1 階ホール	物販
3	28	土	10:00～16:30	合同会社シルク機能総研	1 階ホール	物販

8. その他

(1) 国際センター開設に伴う展示

令和 5 年 4 月 14 日（金）の国際センター開設に伴い、学術情報課程を中心として、「食と農」の博物館 1 階ロビーにおいて、世界各地の農具や馬具、木舟など国内外の農業や文化に関する資料を展示した。





(2)「食と農」の博物館　空調改修工事

「食と農」の博物館において、以下のとおり空調改修工事を実施した。

年度	場所	日程
令和 5 年度	1 階事務室・2 階展示室	9 月 15 日（金）～10 月 10 日（火）
令和 6 年度	2 階展示室	9 月 10 日（火）～10 月 5 日（土）

(3)「食と農」の博物館　LED 化工事

「食と農」の博物館において、以下のとおり LED 化工事を実施した。

年度	場所	日程
令和 5 年度	1 階展示室 23 台・2 階展示室 69 台	2 月 19 日（月）、2 月 26 日（月）
令和 6 年度	バイオリウム側通路 3 台 1 階展示室 6 台・展示準備室 6 台	2 月 19 日（水）
令和 7 年度	2 階展示室 25 台	12 月 8 日（月）

(4) 蔵元紹介コーナー改装工事

令和 7 年 2 月 4 日（火）～2 月 7 日（金）まで 2 階蔵元紹介コーナーの展示棚の裏板の改装工事を実施した。

(5) 応接会議室収蔵庫設置改修工事

令和 7 年 7 月 15 日（火）に、「食と農」の博物館内の応接会議室収蔵庫設置改修工事が竣工した。

(6) オールウェルカム TOKYO

令和 7 年 9 月から 12 月までの期間に、共生社会の実現に向けた芸術文化へのアクセシビリティ向上を目的として（公財）東京都歴史文化財団が実施した「オールウェルカム TOKYO」キャンペーンの協力団体（文化施設）として登録した。

(7)「食文化ミュージアム」正式認定

令和 8 年 2 月 27 日（金）に、日本の食文化に関する様々な学びや体験を提供する施設を評価する文化庁の推進事業「食文化ミュージアム」に正式認定された。同日、文化庁主催「100 年フード・食文化ミュージアムサミット」に前橋健二館長が登壇した。




Ⅲ　各種データ

１．月別の開館日数と入館者数

月	令和5年度				令和6年度				令和7年度			
	開館日数			入館者数（人）	開館日数			入館者数（人）	開館日数			入館者数（人）
	平日	土日祝日	計		平日	土日祝日	計		平日	土日祝日	計	
4	16	5	21	3,165	17	4	21	5,108	16	4	20	3,992
5	14	4	18	2,984	17	3	20	3,390	15	4	19	3,638
6	18	4	22	2,790	16	5	21	4,232	16	4	20	3,653
7	16	5	21	2,741	18	4	22	3,605	18	4	22	3,098
8	13	4	17	2,795	8	4	12	3,744	8	4	12	4,204
9	13	3	16	1,590	4	1	5	560	13	4	17	2,682
10	17	4	21	3,308	13	3	16	2,912	19	4	23	3,465
11	14	6	20	13,951	17	5	22	7,659	16	6	22	10,298
12	13	4	17	3,336	12	3	15	3,045	12	3	15	2,619
1	15	4	19	2,962	17	3	20	3,392	16	4	20	3,825
2	16	4	20	3,988	15	4	19	3,594	15	4	19	4,051
3	14	6	20	4,650	14	6	20	4,340	15	5	20	4,668
計	179	53	232	48,260	168	45	213	45,581	179	50	229	50,193

２．コマーシャルボックスの利用状況
（1）コマーシャルボックス

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
1	青森県平川市	株式会社アルビオン	株式会社アルビオン
2	株式会社アルビオン	アルファー食品株式会社	アルファー食品株式会社
3	アルファー食品株式会社	合同会社iroiro	合同会社iroiro
4	株式会社大嶋農場	株式会社大嶋農場	株式会社大嶋農場
5	かわせい堂	かわせい堂	かわせい堂
6	コーケンフード＆フレーバー株式会社	コーケンフード＆フレーバー株式会社	コーケンフード＆フレーバー株式会社
7	株式会社新書館	株式会社新書館	株式会社新書館
8	ソントン食品株式会社	ソントン食品株式会社	ソントン食品株式会社
9	トキタ種苗株式会社	トキタ種苗株式会社	長野県青木村
10	長野県青木村	長野県青木村	長野県木祖村商工会
11	長野県木祖村商工会	長野県木祖村商工会	長野県JA中野市
12	長野県JA中野市	長野県JA中野市	株式会社日健総本社
13	株式会社日健総本社	株式会社日健総本社	日本科研株式会社
14	日本科研株式会社	日本科研株式会社	日本食研ホールディングス株式会社
15	日本食研ホールディングス株式会社	日本食研ホールディングス株式会社	株式会社ノエビア
16	ニューシルクロード連携協議会	株式会社ノエビア	富士宮市フードバレー推進協議会
17	株式会社ノエビア	フードディスカバリー株式会社	松谷化学工業株式会社
18	フードディスカバリー株式会社	富士宮市フードバレー推進協議会	株式会社バイオインダストリー（無料会員）
19	富士宮市フードバレー推進協議会	松谷化学工業株式会社	一般社団法人食香粧研究会（無料会員）
20	松谷化学工業株式会社	有限会社緑の農園	株式会社メルカード（無料会員）
21	有限会社緑の農園	株式会社バイオインダストリー（無料会員）	
22	NPO法人「良い食材を伝える会」	一般社団法人食香粧研究会（無料会員）	
23	株式会社バイオインダストリー（無料会員）	株式会社メルカード（無料会員）	
24	一般社団法人食香粧研究会（無料会員）		
25	株式会社メルカード（無料会員）		

（2）東京農業大学卒業生の蔵元「銘酒紹介コーナー」

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
1	愛友酒造株式会社※2コマ契約	愛友酒造株式会社※2コマ契約	愛友酒造株式会社※2コマ契約
2	朝日酒造株式会社	朝日酒造株式会社	朝日酒造株式会社
3	浅間酒造株式会社	浅間酒造株式会社	浅間酒造株式会社
4	天吹酒造合資会社	天吹酒造合資会社	天吹酒造合資会社
5	石鎚酒造株式会社	石鎚酒造株式会社	石鎚酒造株式会社
6	石本酒造株式会社	石本酒造株式会社	石本酒造株式会社
7	磯自慢酒造株式会社	磯自慢酒造株式会社	磯自慢酒造株式会社
8	井出醸造店	井出醸造店	井出醸造店
9	宇都宮酒造株式会社	宇都宮酒造株式会社	宇都宮酒造株式会社
10	合資会社浦里酒造店	合資会社浦里酒造店	合資会社浦里酒造店
11	大澤酒造株式会社	大澤酒造株式会社	大澤酒造株式会社
12	オガタマ酒造株式会社	オガタマ酒造株式会社	オガタマ酒造株式会社
13	小澤酒造株式会社	小澤酒造株式会社	小澤酒造株式会社
14	開当男山酒造	開当男山酒造	開当男山酒造
15	株式会社角星	株式会社角星	株式会社角星
16	春日酒造株式会社	春日酒造株式会社	春日酒造株式会社
17	亀田酒造株式会社	亀田酒造株式会社	亀田酒造株式会社
18	亀萬酒造合資会社	亀萬酒造合資会社	亀萬酒造合資会社
19	川尻酒造場	川尻酒造場	川尻酒造場
20	川鶴酒造株式会社	川鶴酒造株式会社	河忠酒造株式会社
21	木戸泉酒造株式会社	木戸泉酒造株式会社	川鶴酒造株式会社
22	錦爛酒造株式会社	錦爛酒造株式会社	木戸泉酒造株式会社
23	久須美酒造株式会社	久須美酒造株式会社	錦爛酒造株式会社
24	黒澤酒造株式会社	黒澤酒造株式会社	久須美酒造株式会社
25	株式会社小泉本店	株式会社小泉本店	黒澤酒造株式会社
26	黒龍酒造株式会社	黒龍酒造株式会社	株式会社小泉本店
27	株式会社小山本家酒造	株式会社小山本家酒造	黒龍酒造株式会社
28	有限会社新藤酒造店	有限会社新藤酒造店	小林醸造株式会社
29	関谷醸造株式会社	関谷醸造株式会社	株式会社小山本家酒造
30	高木酒造株式会社	高木酒造株式会社	有限会社新藤酒造店
31	武の井酒造株式会社	武の井酒造株式会社	関谷醸造株式会社
32	司牡丹酒造株式会社	司牡丹酒造株式会社	高木酒造株式会社
33	月の井酒造店	月の井酒造店	武の井酒造株式会社
34	鶴乃江酒造株式会社	鶴乃江酒造株式会社	司牡丹酒造株式会社
35	出羽桜酒造株式会社	出羽桜酒造株式会社	月の井酒造店
36	株式会社土井酒造場	株式会社土井酒造場	鶴乃江酒造株式会社
37	利守酒造株式会社	利守酒造株式会社	出羽桜酒造株式会社
38	中尾醸造株式会社	中尾醸造株式会社	株式会社土井酒造場
39	中沢酒造株式会社	中沢酒造株式会社	利守酒造株式会社
40	七笑酒造株式会社	七笑酒造株式会社	中尾醸造株式会社
41	株式会社鳴海醸造店	株式会社鳴海醸造店	中沢酒造株式会社
42	株式会社南部美人	株式会社南部美人	七笑酒造株式会社
43	株式会社新澤醸造店	株式会社新澤醸造店	株式会社鳴海醸造店
44	有限会社仁井田本家	有限会社仁井田本家	株式会社南部美人
45	株式会社西飯田酒造店	株式会社西飯田酒造店	株式会社新澤醸造店
46	八海醸造株式会社	八海醸造株式会社	有限会社仁井田本家
47	有限会社原田酒造場	有限会社原田酒造場	株式会社西飯田酒造店
48	福司酒造株式会社	福司酒造株式会社	八海醸造株式会社
49	富士酒造合資会社	富士酒造合資会社	有限会社原田酒造場
50	藤井酒造株式会社	藤井酒造株式会社	福司酒造株式会社
51	富士錦酒造株式会社	富士錦酒造株式会社	富士酒造合資会社
52	株式会社本田商店	株式会社本田商店	藤井酒造株式会社
53	株式会社まさひろ酒造	株式会社まさひろ酒造	富士錦酒造株式会社
54	宮尾酒造株式会社	宮尾酒造株式会社	株式会社本田商店
55	向井酒造株式会社	向井酒造株式会社	株式会社まさひろ酒造
56	森戸酒造株式会社	森戸酒造株式会社	宮尾酒造株式会社
57	株式会社矢尾本店	株式会社矢尾本店	向井酒造株式会社
58	山川酒造株式会社	山川酒造株式会社	森戸酒造株式会社
59	有限会社山川酒造	有限会社山川酒造	株式会社矢尾本店
60	株式会社山中酒造	株式会社山中酒造	山川酒造株式会社
61	山元酒造株式会社	山元酒造株式会社	有限会社山川酒造
62	株式会社湯川酒造店	株式会社湯川酒造店	株式会社山中酒造
63	雪椿酒造株式会社	雪椿酒造株式会社	山元酒造株式会社
64	米澤酒造株式会社	米澤酒造株式会社	勇心酒造株式会社
65	来福酒造株式会社	来福酒造株式会社	株式会社湯川酒造店
66	株式会社六歌仙	株式会社六歌仙	雪椿酒造株式会社
67			米澤酒造株式会社
68			来福酒造株式会社
69			株式会社六歌仙

3．メディア／取材申し込み・掲載誌

《令和 5 年度》

NO	放映月 掲載月	メディア	企業・団体	内容
テレビ				
1	令和 5 年 4 月	J-COM「ジモト応援!東京つながる News」世田谷・調布・狛江	J-COM 株式会社	地域創成科学科展
2	令和 5 年 6 月	日本テレビ「クイズあなたは小学 5 年生より賢いの？」	株式会社日テレアレックスオン	唐蓑に関するクイズの監修
3	令和 5 年 6 月	日本テレビ「クイズあなたは小学 5 年生より賢いの？」	株式会社日テレアレックスオン	足踏み脱穀機に関するクイズの監修
4	令和 5 年 11 月	J-COM「ジモトトピックス」世田谷・調布・狛江・大田	J-COM 株式会社	醸造科学科展
5	令和 5 年 12 月	TOKYO MX「ぐるり東京江戸散歩」	東京メトロポリタンテレビジョン株式会社	博物館の紹介
6	令和 5 年 12 月	フジテレビ「有吉くんの正直さんぽ」	オフィスながも株式会社	博物館の紹介
ラジオ				
1	令和 5 年 4 月	TOKYO FM「あぐりずむ」	TOKYO FM	地域創成科学科展
2	令和 5 年 7 月	TOKYO FM「サステナ＊デイズ」	イー・エー・ユー株式会社	地域創成科学科展関連イベント
3	令和 5 年 10 月	TOKYO FM「あぐりずむ」	TOKYO FM	醸造科学科展
インターネット				
1	令和 5 年 4 月	JR 各社、Yahoo!JAPAN WEB サイト	協同組合インフォメーションラクノロジー関西	博物館・バイオリウム紹介
2	令和 5 年 6 月	ママ向けおでかけ情報メディア ココフル♪	株式会社 HITOMINA	博物館・バイオリウム紹介
3	令和 5 年 6 月	体験イベント in 大学－日本の学校	株式会社 JS コーポレーション	地域創成科学科展
4	令和 5 年 9 月	FutureLearn	慶應義塾大学出版会株式会社	博物館紹介
5	令和 5 年 7 月	Yahoo!JAPAN WEB サイト	Yahoo!Japan クリエイターズプログラム	博物館・バイオリウム紹介
6	令和 5 年 8 月	サイエンスウィンドウ	JST 科学技術振興機構	博物館・バイオリウム紹介
7	令和 5 年 8 月	NAVITIME Travel	株式会社ナビタイムジャパン	博物館・バイオリウム紹介
8	令和 5 年 10 月	共同通信アグリラボ	株式会社共同通信	醸造科学科展
9	令和 5 年 12 月	朝日新聞 Think キャンパス	朝日新聞社	博物館の紹介
新聞社				
1	令和 5 年 7 月	朝日新聞 朝刊「いきものめぐり」	朝日新聞東京本社	桂チャボ紹介
雑誌				
1	令和 5 年 6 月	Dream Navi	株式会社アーク・コミュニケーションズ	地域創成科学科展

2	令和５年６月	新・実学ジャーナル令和５年５月号	東京農業大学	地域創成科学科展
3	令和５年９月	中学校　教育フォーラム	大日本図書株式会社	博物館・バイオリウム紹介
4	令和５年９月	月刊「ラジオライフ」11月号	株式会社三才ブックス	博物館紹介
5	令和５年９月	マイガーデンNo.108	株式会社マルモ出版	博物館紹介
6	令和５年10月	月刊「ラジオライフ」12月号	株式会社三才ブックス	バイオリウム紹介
書籍				
1	令和５年５月	「東京のワクワクする大学博物館めぐり」	トゥーヴァージンズ	博物館・バイオリウム紹介
2	令和５年７月	「地球の歩き方　世田谷区」	株式会社 トラベル・キッチン	博物館・バイオリウム紹介
3	令和５年11月	「なぜ？を考える力がつく 東京科学館めぐり」	株式会社Ｇ．Ｂ．	博物館・バイオリウム紹介
4	令和６年４月予定	東京のちいさな美術館・博物館・文学館【増補改訂版】	株式会社エクスナレッジ	博物館・バイオリウム紹介
タウン情報・施設ガイド				
1	令和５年11月	東京散策乗物ガイド	株式会社らくゆう舎	博物館・バイオリウム紹介
その他				
1	令和５年９月	「2024 パック V 日本史 B」学校販売教材	有限会社アート・エフ	備中くわ画像
2	令和５年11月	YouTube「ふきのとうデイホームの日常」	社会福祉法人ふきのとうの会 ふきのとうデイホーム	博物館紹介

《令和６年度》

NO	放映月 掲載月	メディア	企業・団体	内容
テレビ				
1	令和６年６月	テレビ朝日	東京サイト（東京都提供番組）	『大学の博物館』紹介
2	令和６年12月	イッツコム地モト NEWS	イッツ・コミュニケーションズ株式会社	企画展紹介
3	令和７年３月	めざましテレビ	フジテレビ	博物館紹介
ラジオ				
1	令和６年４月	ＴＯＫＹＯ　ＦＭ「あぐりずむ」	TOKYO FM	地域創成科学科展
2	令和６年７月	ＴＯＫＹＯ　ＦＭ「サステナ＊デイズ」	イー・エー・ユー株式会社	地域創成科学科展関連イベント
3	令和６年10月	ＴＯＫＹＯ　ＦＭ「あぐりずむ」	TOKYO FM	醸造科学科展
インターネット				
1	令和６年４月	JR 各社、Yahoo!JAPAN WEB サイト	協同組合インフォメーションラクノロジー関西	博物館・バイオリウム紹介
2	令和６年４月	馬の推し方　馬って推すものなんですか？	ＪＲＡ	馬の歴史・文化の紹介
3	令和６年７月	futakoloco	二子玉川まちメディア	博物館・企画展紹介

4	令和６年９月	東急電鉄 Instagram	株式会社 SAGOJO	博物館紹介
5	令和６年９月	スフマート	スフマート編集部	博物館紹介
6	令和６年10月	じゃらんニュース	株式会社イングクラウド	博物館紹介
7	令和６年12月	ほとんど０円大学	株式会社 hotozero	南極飯紹介
新聞社				
1	令和６年７月	朝日新聞 朝刊「いきものめぐり」	朝日新聞東京本社	桂チャボ紹介
2	令和６年７月	読売新聞 朝刊「都民版」	読売新聞東京本社	展示会場の紹介・展示の紹介
3	令和６年７月	読売新聞都内版	読売新聞東京本社	企画展の紹介
4	令和６年７月	美しき土壌の世界	全私学新聞	企画展の紹介
5	令和６年12月	読売ＫＯＤＯＭＯ新聞	読売新聞東京本社	企画展の紹介
6	令和６年12月	農業組合新聞（デジタル版）	一般社団法人農協協会	博物館紹介
7	令和６年12月	毎日新聞（デジタル版）	毎日新聞社	企画展の紹介
雑誌				
1	令和６年５月	日経サイエンス　７月号	日経サイエンス社	博物館紹介
2	令和６年７月	東京人　８月号	都市出版株式会社	博物館紹介
3	令和６年７月	Dream Navi	株式会社アーク・コミュニケーションズ	企画展紹介
4	令和６年９月	散歩の達人　９月号	交通新聞社	博物館・バイオリウム紹介
5	令和６年９月	ナビタイム	ナビタイムジャパン	博物館紹介
6	令和６年11月	ODAKYU VOICE home	小田急電鉄	博物館紹介
7	令和６年11月	関東のマニアック博物館めぐり	メイツ出版株式会社	博物館紹介
8	令和７年１月	子供の科学	誠文堂新光社	企画展紹介
9	令和７年３月	東京人　４月号	都市出版株式会社	博物館紹介
10	令和７年３月	月刊サライ	小学館	博物館紹介
タウン情報・施設ガイド				
1	令和６年４月	江戸川区立中央図書館広報誌	江戸川区立中央図書館	博物館・バイオリウム紹介
2	令和６年８月	ぐるり世田谷	世田谷くみん手帖	博物館紹介
その他				
1	令和６年11月	ＢＩＬＡＮＣ	私立大学退職金財団	博物館紹介
2	令和６年８月	農大学報１５８号	東京農業大学教育後援会	企画展紹介
3	令和６年11月	校友会ニュース	東京農業大学校友会	企画展紹介
4	令和７年１月	農大学報１５９号	東京農業大学教育後援会	企画展紹介

《令和７年度》

NO	放映月 掲載月	メディア	企業・団体	内容
テレビ				
1	令和７年４月	ソロカツ女子のススメ５　第４話「ソロキャン」	テレビ東京	博物館・バイオリウム紹介

2	令和７年６月	THE TIME 内「プチマーケ」	TBS	大学博物館特集
3	令和７年12月	テレビ東京「東京 GOOD！ TREASURE MAP」	テレビ東京	大学博物館特集
4	令和７年12月	おはよう日本「くらしり」	NHK	博物館「みりん」紹介
5	令和８年１月	THE TIME，内「知り TIME」	TBS	博物館「みりん」紹介
6	令和８年３月	NHK WORLD Newsline Asia24	NHK WORLD	「いきもの研究所の舞台裏」特別企画　「メーリアンの立体昆虫図譜展」
WEB・SNS				
1	令和７年４月	JR おでかけネット	インフォメーションテクノロジー関西	博物館・バイオリウム紹介
2	令和７年５月	標本ナビ	多様性生物希少標本ネットワーク	企画展「いきもの研究所の舞台裏」
3	令和７年６月	『NAVITIME Travel』、『NAVITIME』	株式会社ナビタイムジャパン	博物館・バイオリウム紹介
4	令和７年７月	HugKum（はぐくむ）	小学館	博物館紹介
5	令和７年９月	世田谷区 HP	世田谷区文化・国際課	博物館紹介
6	令和７年12月	じゃらんニュース	株式会社イングランド	博物館・バイオリウム紹介
7	令和７年12月	世田谷区産業振興公社公式 Instagram	株式会社 IGLOOO	博物館・バイオリウム紹介
8	令和７年12月	世田谷区 HP	世田谷区文化・国際課	博物館紹介
9	令和８年２月	東急リゾーツ＆ステイ株式会社 Instagram	株式会社 Beyond	博物館・バイオリウム紹介
10	令和８年３月	NHK WORLD Newsline Asia24	NHK	「いきもの研究所の舞台裏」特別企画　「メーリアンの立体昆虫図譜展」
新聞社				
1	令和７年８月	朝日中高生新聞	株式会社朝日学生新聞社	醸造科学科（大西先生）
2	令和７年12月	千葉日報	株式会社千葉日報社	博物館「みりん」紹介
3	令和７年12月	産経新聞	株式会社産業経済新聞社	博物館「みりん」紹介
4	令和８年１月	毎日新聞	株式会社毎日新聞社	博物館「みりん」紹介
雑誌				
1	令和７年５月	『Discover Japan』	株式会社ディスカバー・ジャパン	農大、博物館
2	令和７年６月	流山市立博物館友の会会報「におどり」	流山市立博物館	博物館「みりん」紹介
3	令和７年９月	『月刊誌「教育旅行」令和７年９月号』	公益財団法人日本修学旅行協会	博物館・バイオリウム紹介

4	令和 7 年 11 月	『さぴあ』11 月号	サピックス小学部	博物館・バイオリウム紹介
5	令和 7 年 11 月	『BRUTUS』1023 号	マガジンハウス	博物館・バイオリウム紹介
6	令和 7 年 11 月	『日経サイエンス』令和 8 年 1 月号	COD	企画展「いきもの研究所の舞台裏」
7	令和 8 年 3 月	『科学雑誌 Newton』	株式会社 ニュートンプレス	企画展「いきもの研究所の舞台裏」
書籍				
1	令和 7 年 6 月	『無料で楽しめる！東京周辺大人のミュージアム』	株式会社旺文社	博物館・バイオリウム紹介
タウン情報・施設ガイド				
1	令和 7 年 7 月	『ODAKYUVOICE』７月号	小田急電鉄	博物館・バイオリウム紹介

4．規程・細則等

（1）東京農業大学「食と農」の博物館規程

制　　定　平成 16 年 4 月 1 日
最近改正　令和 2 年 4 月 1 日

（趣旨）
第 1 条　東京農業大学学則第 7 条の 7 の規定に基づき，東京農業大学「食と農」の博物館(以下「博物館」という。)について，必要な事項を定めるものとする。
（目的）
第 2 条　博物館は，大学における教育研究の使命を達成するために必要な実物，標本及びその他の資料を収集、保管展示，調査及び研究を行い，教職員，学生及び一般の利用に供するとともに，本学の教育・研究の成果を広く社会に公開することを目的とする。
（業務分掌）
第 3 条　博物館に係る事務は，図書館事務部が行い，分掌事項は東京農業大学事務分掌規程の規定による。
（博物館委員会）
第 4 条　博物館に関する運営について，広く社会的視点から，指導・助言を受けるため学内外の有識者からなる博物館委員会(以下「委員会」という。)を置く。
2　委員会の委員は，学長が委嘱する。
3　委員会の運営に関する必要事項は，別に定める。
（博物館運営委員会）
第 5 条　博物館に博物館運営委員会(以下「運営委員会」という。)を置く。
2　運営委員会は，次の事項を審議する。
（1）　博物館の管理・運営に関する基本方針
（2）　予算の立案及び執行に関する事項
（3）　展示の企画・運営に関する事項
（4）　その他必要な事項
3　運営委員は，博物館長の推薦に基づき学長が任命する。
4　運営委員の任期は，2 年とし，再任を妨げない。
（博物館実務委員会）
第 6 条　博物館に博物館実務委員会(以下「実務委員会」という。)を置く。
2　実務委員会は，本学と一般財団法人進化生物学研究所(以下「進化研」という。)との連絡・調整を図るとともに博物館管理の実務について協議する。
3　実務委員会は，本学と進化研の双方の委員をもって構成する。
4　実務委員会に関する細則は，別に定める。
5　実務委員は，博物館長が任命する
6　実務委員の任期は，2 年とし，再任を妨げない。
（規程の改廃）
第 7 条　この規程の改廃は，運営委員会の議を経て行う。
附　則
この規程は，平成 16 年 4 月 1 日から施行する。
附　則
この規程は，平成 18 年 4 月 1 日から施行する。
附　則
この規程は，平成 19 年 4 月 1 日から施行する。
附　則
この規程は，平成 30 年 4 月 1 日から施行する。
附　則
この規程は，令和 2 年 4 月 1 日から施行する。

(2) 東京農業大学「食と農」の博物館管理運営細則

（趣旨）
第 1 条　この細則は，東京農業大学「食と農」の博物館規程第３条第２項の規定に基づき，東京農業大学「食と農」の博物館（以下「博物館」という。）の管理，運営に関し必要な事項を定めるものとする。
（開館時間）
第 2 条　博物館の開館時間は，午前１０時から午後５時までとする。ただし，博物館長が必要と認めるときは，前項に規定する開館時間を変更することができる。
（休館日）
第 3 条　博物館の休館日は，次のとおりとする。
（1）　月曜日
（2）　その他，博物館長が必要と認めるときは，臨時に休館し，又は休館日を変更することができる。
（入館料）
第 4 条　入館料は，無料とする。ただし，特別企画展等の催しについて博物館長が必要と認めるときは特別に観覧料を徴収することができる。

（入館者の遵守事項）
第5条　博物館入館者は，次の事項を遵守しなければならない。
(1)　施設，設備，展示資料等を汚損し，又は損傷しないこと。
(2)　許可なく展示資料の写真撮影，模写等の行為を行わないこと。
(3)　館内では喫煙しないこと。
(4)　所定の場所以外において飲食し，又は火気を使用しないこと。
(5)　無断で広告その他これに類するものを掲示又は配布しないこと。
(6)　他人に危害を加え，又は迷惑となる行為をしないこと。
(7)　前各号に定めるもののほかは，博物館職員の指示に従うこと。
（入館の制限及び退館措置）
第6条　博物館は，次の各号のいずれかに該当する者は，入館を禁止し，又は退館させることができる。
(1)　公の秩序又は善良な風俗を乱す恐れのあるとき。
(2)　施設，展示品等を損壊する恐れのあるとき。
(3)　その他，博物館長が管理運営上支障があると判断したとき。
（資料の貸出し）
第7条　博物館が所蔵する資料について，博物館業務に支障がないと認められるときは，貸出すことがある。
２　資料の貸出しを受けようとする者は，博物館資料貸出し申請書を提出し，博物館長の許可を受けなければならない。
３　資料の貸出し期間は，６０日以内とする。ただし，博物館長が必要と認めるときは，これを短縮又は延長することができる
（資料の閲覧・複写等）
第8条　博物館が所蔵する資料のうち文書，図書，絵画等の閲覧又は複写を認めることがある。
２　資料の閲覧又は複写サービスを受けようとする者は，博物館資料閲覧・複写申請書を提出し，博物館長の許可を受けなければならない。
（資料の閲覧又は複写の制限）
第9条　前条の規定にかかわらず，次の各号に掲げる資料については，閲覧又は複写を許可しないものとする。
(1)　未公開及び未整理のもの
(2)　閲覧又は複写が資料の保存に影響を及ぼす恐れがあると認められるもの
(3)　寄託された資料等で寄託者の同意を得ていないもの
(4)　その他博物館長が不適当と認めたもの
（施設の貸出し）
第10条　次の各号に掲げる施設について，博物館業務に支障がないと認められるときは，貸出すことがある。施設の貸出し要領等については，別に定める。
(1)　1階ホール
(2)　1階喫茶コーナー
(3)　2階ホール（展示会場）
(4)　セミナー室
２　コマーシャルボックスは食と農に関連する企業，団体等に場所を貸与し，その企業，団体等の製品・パンフレット等を展示する。コマーシャルボックスの管理，運営に関する要領等については，別に定める。
（規程の準拠）
第11条　この細則に定めるもののほかは，大学の規程に準ずる。
（雑則）
第12条　この細則の改廃は，「食と農」の博物館運営委員会の議を経て行う。
附　則
この細則は，平成17年1月24日から施行する。

(3) 東京農業大学「食と農」の博物館コマーシャルボックス管理運営要項

（目的）
第1条　この要領は，東京農業大学「食と農」の博物館管理運営細則第10条第2項の規定に基づきコマーシャルボックス（以下「ボックス」という。）の管理運営に関し必要な事項を定めるものとする。
（利用者）
第2条　ボックスを利用できる者（以下「利用者」という。）は，次のとおりとする。
(1)　食と農に関連する企業，団体。
(2)　本学の卒業生や教職員が紹介する企業等。
（利用開始）
第3条　ボックスの利用を希望する者は，ボックス利用申込書を博物館長に提出しなければならない。
２　博物館長は，ボックスの利用申込書を受理したときは，その内容を審査し利用の可否を決定する。
３　利用者は，博物館長から請求のあった利用料金を博物館の指定する口座に振り込むことにより利用を開始することができる。利用開始の時期については，博物館と利用者が協議して決める。
（利用の中止）
第4条　博物館長は，利用者が次のいずれかに該当することが判明した場合は利用を中止することができる。
(1)　利用者が著しく社会規範を損なったとき。
(2)　博物館の指定する期日内にボックス利用料金を利用者が納入しなかったとき。
(3)　その他博物館長が不適当と認めたとき。
（利用期間）
第5条　利用期間は4月1日から翌年の3月31日までの一年度とする。ただし利用者の都合により、年度途中で利用を中止する場合は，1ヵ月前に博物館長に申し出るものとする。

（継続利用）
第６条　博物館長は，ボックスの継続利用を希望する利用者に対して，所定の手続を経て許可することができる。
（ボックスの規格，料金等）
第７条　ボックスの利用料金は次のとおりとする。

№.	ボックス名称･規格	口数	年額料金/ボックス
①	1 階展示ボックス、横 500 ㎜ 高さ 450㎜ 奥行き 300㎜、重量 10kg 以内	48	100,000 円
②	2 階酒造蔵元紹介ボックス、横 200㎜ 高さ 340㎜ 、奥行き 200㎜、　重量 2kg 以内 1 口 4 ボックスとする。	70	10,000 円

（1）　利用期間が 9 ヵ月未満の途中加入の場合は，残り月数に 1 階ボックス（№.①）は月額 10,000 円。
2 階ボックス（№.②）は月額 1,000 円を乗じた金額とする。
（2）　年度途中で利用を中止する場合は月割りで返還する。
（禁止行為）
第８条　ボックス利用にあたっては，次の展示や行為を禁止する。
ア　宗教活動又は政治活動などに関わる展示や行為
イ　公序良俗に反する展示又は行為
ウ　著作権又は商標権等知的財産その他本学もしくは第三者の権利を侵害する展示
エ　その他，大学の博物館として不適当であると判断される展示や行為
（展示品等の管理等）
第９条　　展示品の管理は，博物館が行う。ただし，展示品が紛失，盗難，破損等した場合，利用者は，博物館に対して弁償などの責任を求めないものとする。
（特典）
第 10 条　1 階および 2 階の展示ボックスの利用者は、博物館主催の行事、イベント等に重ならないことを条件に商品キャンペーン等の利用が毎月 1 回（連続 3 日間）限りにおいて、1 階の博物館が指定する場所および 2 階セミナー室が無料で利用できる。なお、利用に当たっては博物館の主旨を理解し、呼び込み等のセールスを行わないこと。
（雑則）
第 11 条　この要領の改廃は，「食と農」の博物館運営委員会の議を経て行う。
附　則
この要領は，平成 23 年 4 月 1 日から施行する。

（4）東京農業大学「食と農」の博物館施設貸出要項

（趣旨）
第１条　第２項及び東京農業大学「食と農」の博物館管理運営細則第１０条第１項の規定に基づき、施設等の貸出しについて、定めるものとする。
（貸出し施設）
第２条　貸出し施設は、次のとおりとする。
（1）　1 階ホール
（2）　1 階喫茶コーナー
（3）　２階ホール（展示会場）
（4）　セミナー室
（貸出し許可団体等）
第３条　施設の貸出しを許可する団体等（以下「利用者」という。）は、次の通りとする。
（1）　本学職員
（2）　本学に関係のある個人、企業、団体、研究機関等
（3）　その他、特に博物館長が許可した個人又は団体
２　前（1)、(2）の貸出しにあたっては、本学職員が施設利用責任者となる。
３　前項（2）に規定する喫茶コーナーの貸出しについては、博物館と委託業者との協議により許可を決定する。
（利用申込み方法）
第４条　利用者は、所定の施設利用申込書（様式１、以下「利用申込書」という。）を博物館に提出し、博物館長の許可を受けなければならない。
（利用受付）
第５条　施設の利用受付は、利用開始日の６カ月前からとする。
２　博物館長は、利用申込書の内容を確認し、貸出しの可否、利用条件等を利用者に通知する。
３　許可を受けた利用者は、その通知を受け取った日から 1 週間以内に博物館職員と利用にあたっての事前打ち合わせを行うものとする。
（施設備品の借用）
第６条　施設利用に付随して、博物館の備品等を利用する場合は、備品借用願書（様式２、以下「借用願」という。）を提出しなければならない。

（利用料金）
第７条　貸出し施設の利用料金は、次のとおりとする。

		利用料金		備考
施設名	収容人数	9 時～17 時	13 時～17 時	利用する時間帯は、準備及び後片付けの時間も含む。
１階ホール	４０名	２０，０００円	１０，０００円	
２階ホール	８０名	４０，０００円	２０，０００円	
セミナー室	１５名	２０，０００円	１０，０００円	

２　施設の利用料金は、施設利用開始日の２週間前までに指定の口座に振り込まなければならない。その際の振込み手数料は、利用者の負担とする。
３　喫茶コーナーの利用方法、料金等については、別途博物館と委託業者との協議により定める。
４　前各号の規定にかかわらず、本学職員の利用並びに博物館長が特別に認めた利用者の利用については、無料とすることができる。
（資材、展示品等の搬入と管理）
第８条　利用者が施設利用のための資材、展示品等を搬入する必要がある場合は、申請し、博物館長の許可を得るものとする。
２　搬入した資材、展示品等の管理は、利用当事者の責任において行うこととする。
（盗難、事故等発生時の対応）
第９条　搬入資材、展示品等の盗難、事故について、本学及び博物館は、一切その責を負わない。
２　利用者は、利用期間中に盗難、事故等が発生した場合は、直ちに博物館職員に報告すること。
３　利用者が利用期間中に本館の施設、備品等を破損したときは、実費を請求する。
（廃棄物の処理）
第 10 条　利用期間中に発生したごみ等の廃棄物は、利用者各自で処理すること。産業廃棄物処理業者等に委託して処理する場合は、博物館長の許可を得ること。
（施設利用の変更、取消し）
第 11 条　利用者が利用許可後に利用期間を変更する場合は、速やかに文書にてその旨を提出し、博物館長の許可を受けなければならない。
２　利用者が利用許可後に利用の取消しを行う場合は、利用開始予定日の２カ月前までに文書にてその旨を提出しなければならない。
３　利用許可後の利用取消しについては、取消し手数料を請求することがある。
（貸出しの禁止又は取消し）
第 12 条　次の各号の一つでも認められる利用者には、貸出しを禁止すると共に、貸出し期間中であっても利用を取消す場合がある。
(1)　申込み書の内容に疑義があるとき
(2)　利用目的と異なる目的で利用したとき
(3)　他の団体等に又貸しをしたとき
(4)　本学及び博物館のイメージを損なう行為があると認められるとき
(5)　本館職員の指示に従わないとき
(6)　その他、博物館長が不適当と認めたとき
（貸出しの取消しによる損害への対応）
第 13 条　前項で貸出しの取消しを受けたために生じた利用者の損害について、本学及び博物館は一切その責を負わない。
（夜間貸出し）
第 14 条　博物館長が特別に許可した利用者には、夜間の貸出しを認めることができる。
２　貸出し時間は、準備、後かたづけを含め１７時３０分から２０時００分までとする。
３　貸出しに当たっては、本要領に従う。
４　その他必要事項については、博物館職員の指示に従うこととする。
５　夜間の利用において、警備員の配置を必要とする場合は、利用者から別途警備に関わる費用を徴収する場合がある。
（自家用車乗り入れ）
第 15 条　利用者が展示に必要な資材、展示品等を搬入、搬出する場合は駐車場の使用を許可する。駐車場の使用を希望する場合は、来館日時、車台数等を届け出て、駐車許可証の交付を受けなければならない。
附　則
この要領は、平成 17 年 1 月 24 日から施行する。

(5) 東京農業大学「食と農」の博物館実行委員会細則

（趣旨）

第１条　この細則は，東京農業大学「食と農」の博物館規程第３条第２項の規定に基づき，東京農業大学「食と農」の博物館（以下「博物館」という。）の管理，運営に関し必要な事項を定めるものとする。

（開館時間）

第２条　博物館の開館時間は，午前１０時から午後５時までとする。ただし，博物館長が必要と認めるときは，前項に規定する開館時間を変更することができる。

（休館日）

第３条　博物館の休館日は，次のとおりとする。

(1)　月曜日

(2)　その他，博物館長が必要と認めるときは，臨時に休館し，又は休館日を変更することができる。

（入館料）

第４条　入館料は，無料とする。ただし，特別企画展等の催しについて博物館長が必要と認めるときは特別に観覧料を徴収することができる。

（入館者の遵守事項）

第５条　博物館入館者は，次の事項を遵守しなければならない。

(1)　施設，設備，展示資料等を汚損し，又は損傷しないこと。

(2)　許可なく展示資料の写真撮影，模写等の行為を行わないこと。

(3)　館内では喫煙しないこと。

(4)　所定の場所以外において飲食し，又は火気を使用しないこと。

(5)　無断で広告その他これに類するものを掲示又は配布しないこと。

(6)　他人に危害を加え，又は迷惑となる行為をしないこと。

(7)　前各号に定めるもののほかは，博物館職員の指示に従うこと。

（入館の制限及び退館措置）

第６条　博物館は，次の各号のいずれかに該当する者は，入館を禁止し，又は退館させることができる。

(1)　公の秩序又は善良な風俗を乱す恐れのあるとき。

(2)　施設，展示品等を損壊する恐れのあるとき。

(3)　その他，博物館長が管理運営上支障があると判断したとき。

（資料の貸出し）

第７条　博物館が所蔵する資料について，博物館業務に支障がないと認められるときは，貸出すことがある。

２　資料の貸出しを受けようとする者は，博物館資料貸出し申請書を提出し，博物館長の許可を受けなければならない。

３　資料の貸出し期間は，６０日以内とする。ただし，博物館長が必要と認めるときは，これを短縮又は延長することができる

（資料の閲覧・複写等）

第８条　博物館が所蔵する資料のうち文書，図書，絵画等の閲覧又は複写を認めることがある。

２　資料の閲覧又は複写サービスを受けようとする者は，博物館資料閲覧・複写申請書を提出し，博物館長の許可を受けなければならない。

（資料の閲覧又は複写の制限）

第９条　前条の規定にかかわらず，次の各号に掲げる資料については，閲覧又は複写を許可しないものとする。

(1)　未公開及び未整理のもの

(2)　閲覧又は複写が資料の保存に影響を及ぼす恐れがあると認められるもの

(3)　寄託された資料等で寄託者の同意を得ていないもの

(4)　その他博物館長が不適当と認めたもの

（施設の貸出し）

第10条　次の各号に掲げる施設について，博物館業務に支障がないと認められるときは，貸出すことがある。施設の貸出し要領等については，別に定める。

(1)　1階ホール

(2)　1階喫茶コーナー

(3)　2階ホール（展示会場）

(4)　セミナー室

２　コマーシャルボックスは食と農に関連する企業，団体等に場所を貸与し，その企業，団体等の製品・パンフレット等を展示する。コマーシャルボックスの管理，運営に関する要領等については，別に定める。

（規程の準拠）

第11条　この細則に定めるもののほかは，大学の規程に準ずる。

（雑則）

第12条　この細則の改廃は，「食と農」の博物館運営委員会の議を経て行う。

附　則

この細則は，平成17年1月24日から施行する。

東京農業大学「食と農」の博物館

年報 令和5年・令和6年・令和7年

令和８年11月10日　発行

編集・発行　東京農業大学「食と農」の博物館

代表者　館長　前橋 健二

住　所　〒158-0098 東京都世田谷区上用賀2-4-28
ＴＥＬ　03－5477－4033　　ＦＡＸ　03－3439－6528
ＵＲＬ　https://www.nodai.ac.jp/syokutonou/

印　刷　株式会社イーフォー

